

# 少年審判通訳ハンドブック

【ロシア語】

最高裁判所事務総局

## はじめに

少年審判において少年や保護者などが日本語を理解できない者である場合には、適正な調査や審判を実現するために、通訳が正しく行われることが必要です。しかし、調査や審判でのやり取りを正確に通訳することは、熟練した通訳人でも難しいものと思われまゝ。まして、法律を学んだことのない方が初めて少年審判の通訳をする場合は、戸惑うことが多いと思います。そのような場合、あらかじめ、調査や審判などでよく使われる定型的表現や用語についての通訳例を承知しておくとともに、少年審判がどのような目的で、どのような手続に従って行われるのかということについて正しい予備知識を持っておくことは、適切な通訳を行うために大切なことであると思われまゝ。

このハンドブックは、少年審判の通訳をすることになった方のために、通訳人として心得ておいていただきたいと思われること、知っていること役に立つと思われることをまとめ、通訳をする際の参考としていただくために作成したもので、少年審判の概要を説明した部分、通訳に当たっての注意事項を取りまとめた部分、調査や審判などでよく使われる定型的表現の対訳部分、さらに用語の対訳部分の4編からなっています。

このハンドブックが広く少年審判の通訳に当たる方の執務の参考になれば幸いです。

平成28年3月

最高裁判所事務総局家庭局

# 目次

## 第1編 少年審判の概要

第1 少年審判の意義と基本原理	1
1 少年審判の意義	1
2 少年審判の基本原則	1
(1) 教育主義（保護主義）	1
(2) 個別処遇の原則（処遇の個別化）	2
(3) 職権主義	3
第2 少年審判手続の流れ	3
1 事件の受理	3
(1) 対象事件	3
ア 少年保護事件	3
(ア) 犯罪少年	3
(イ) 触法少年	3
(ウ) ぐ犯少年	3
イ 強制的措置許可申請事件	4
ウ 準少年保護事件	4
(2) 事件受理の態様	4
2 観護措置	4
(1) 意義	4
(2) 手続	5
ア 通訳人の氏名などの確認及び宣誓	5
イ 家庭裁判所調査官による面接	5
ウ 裁判官による観護措置決定手続	5
(ア) 少年の氏名などの確認	5
(イ) 黙秘権及び付添人選任権の告知	6

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取	6
(エ) 決定の告知	6
(オ) ウィーン条約の説明	6
(3) 期間など	6
3 調査	7
(1) 裁判官による法的調査	7
(2) 家庭裁判所調査官による社会調査	7
4 審判	8
(1) 審判の開始	8
(2) 審判の場所，関与者など	8
(3) 手続	9
ア 審判開始の宣言	9
イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓	9
ウ 少年の氏名などの確認	9
エ 黙秘権の告知	9
オ 非行事実の審理	9
カ 要保護性の審理	10
キ 決定の告知	10
(ア) 保護処分	10
a 保護観察	10
b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致	10
c 少年院送致	11
(イ) 不処分	11
(ウ) 知事又は児童相談所長送致	11
(エ) 検察官送致	11
(オ) 試験観察	12

	(カ) 没取	12
	(キ) 訴訟費用の負担	13
	ク 保護処分の趣旨の説明	13
	ケ 抗告権の告知	13
	コ ウィーン条約の説明	13
5	検察官及び弁護士である付添人が関与した審理	13
6	被害者等の傍聴	14
第2編	通訳に当たっての注意事項	15
第1	一般的注意事項	15
第2	具体的注意事項	17
1	観護措置決定手続段階	17
2	調査段階	17
3	審判段階	18
第3編	定型文言の対訳	20
第1	観護措置決定手続	20
1	家庭裁判所調査官による面接	20
2	前置き	20
3	少年の氏名などの確認	22
4	黙秘権の告知	22
5	付添人選任権の告知	22
6	非行事実の告知	22
7	少年の弁解の聴取	24
8	観護措置をとらない場合	24
9	観護措置をとる場合（決定の告知等）	24
10	少年鑑別所収容の通知の説明	24
11	ウィーン条約の説明	24

第2	調査手続	26
1	前置き	26
2	少年の氏名などの確認	26
3	手続の説明	26
4	審判の説明	28
5	処分の説明	28
第3	審判手続	30
1	審判開始の宣言	30
2	少年の氏名などの確認	30
3	黙秘権の告知	30
4	被害者等の傍聴がある場合の説明	32
5	非行事実の告知	32
6	少年の弁解の聴取	32
7	証人尋問手続	32
8	聴取の終了	34
9	調査官の意見陳述	34
10	付添人の意見陳述	34
11	決定などの告知及びその説明	34
12	抗告権の告知（保護処分に付された場合）	34
13	ウィーン条約の説明 （少年院送致や少年院への戻し収容の場合）	34
第4	非行事実の告知	36
1	窃盗罪（万引）の例	36
2	窃盗罪（バイク盗）の例	36
3	遺失物等横領罪の例	36
4	傷害罪の例	36

5	強盗罪の例	38
6	殺人罪の例（その1）	38
7	殺人罪の例（その2）	38
8	覚せい剤取締法違反の例	38
9	毒物及び劇物取締法違反の例	40
10	過失運転致傷罪の例	40
11	道路交通法違反（無免許運転）の例	40
12	道路交通法違反（速度違反）の例	40
13	売春防止法違反の例	40
14	出入国管理及び難民認定法違反の例	42
15	ぐ犯の例	42
第5	決定などの告知及びその説明	42
1	保護観察決定などの告知及びその説明	42
	(1) 保護観察決定の告知及びその説明	42
	(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明	44
2	児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知 及びその説明	44
3	少年院送致決定などの告知及びその説明	44
	(1) 少年院送致決定の告知及びその説明	44
	(2) 処遇勧告の告知及びその説明	44
	ア 短期間の処遇勧告の説明	44
	イ 特別短期間の処遇勧告の説明	44
4	不処分決定の告知	44
5	知事又は児童相談所長への送致決定の告知	46
6	検察官送致決定の告知	46
7	強制的措置許可決定の告知	46

8	強制的措置不許可決定の告知	46
9	試験観察決定などの告知及びその説明	46
10	没取決定の告知	46
11	訴訟費用負担決定の告知	46
12	戻し収容決定の告知	48
13	収容継続決定の告知	48
14	保護処分取消決定の告知	48
15	施設送致決定の告知	48
第6	書式例	50
書式1	少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）	50
書式2	少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）	52
書式3	審判期日通知書	54
書式4	呼出状	56
書式5	呼出状（調査）	58
書式6	同行状（緊急）	60
書式7	観護措置通知書	62
書式8	付添人選任届	64
書式9	付添人選任に関する通知及び照会	66
書式10	付添人選任に関する回答書	68
書式11	決定通知書（審判不開始決定）	70
書式12	証人召喚状	72
書式13	証人等整理票	74
書式14	宣誓書	76
書式15	通報の要請に関する照会	78
第4編	用語の対訳	80
第1	法律関係用語	80



第2	調査関係用語	93
第3	官庁等諸機関名	95
第4	法令名	99
第5	罪名	104
	少年保護事件の手の続の流れ	108

## 第1編 少年審判の概要

### 第1 少年審判の意義と基本原理

#### 1 少年審判の意義

一般に、少年は人格が未熟である半面、教育などにより改善される可能性が高いので、非行のある少年に対しては、責任を追及して刑罰による非難を加えるのではなく、非行の背景を探り、少年に保護、教育を行うことが、少年の健全な育成に役立つと考えられます。そこで、少年法（以下「法」といいます。）1条に掲げられている「少年の健全な育成」を図るため、非行のある少年の事件は、全て家庭裁判所に送らせ（これを「全件送致主義」といいます。）、家庭裁判所で少年の個別的な問題性を調査した上、個々の少年に応じた教育的な措置を行うこととされています。家庭裁判所における少年事件の審理は、刑事訴訟手続のように公開の法廷で検察官と被告人及び弁護人双方の主張につき裁判官が第三者的立場から判断をするのではなく、非公開の審判廷で、裁判官が、職権により、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人などの関係者の意見を聴いた上、少年の後見的役割も果たしつつ、少年の将来を考えて処分を決める構造となっています。一定の場合には、検察官も審判に出席しますが、この場合の検察官も家庭裁判所の審判の協力者として出席します。このように、少年の健全な育成を図る目的の下に家庭裁判所が行う、少年事件の受理から最終的な決定に至るまでの一連の手続を、少年審判といいます。

#### 2 少年審判の基本原則

##### (1) 教育主義（保護主義）

少年審判は、非行のある少年について、できるだけ処罰でなく、教育的な手段によって非行性を矯正し、更生を図ることを目的としており、刑罰は、このような教育的な手段によって矯正することができないか、それが不適當な場合に限って科せられることになっています。これは、少年は、精神的に未熟、不

安定で、環境の影響を受けやすく、非行に至った場合にも必ずしも犯罪性が進んでいない者が多いので、これを成人と同視して、その責任を追及することは適当でないという考えと、少年は、たとえ罪を犯した場合にも人格の発達途上にあるものとして、成人に比べなお豊かな教育的可能性（可塑性）を有しており、指導や教育によって更生させることが期待できるにもかかわらず、教育によらずに刑罰という制裁を科すことは、本人の将来のためにならないばかりでなく、社会にとっても決して得策ではないという考えに基づいています。

このような考え方を教育主義といいます。教育主義は、全ての少年事件を家庭裁判所に送らせ（全件送致主義）、家庭裁判所において、必要な調査を行った上で少年の処分を決める仕組みになっていることにも表れています。

## (2) 個別処遇の原理（処遇の個別化）

少年の非行の原因は様々であり、性格、環境などの問題点も多岐にわたりますから、これに対処して少年の非行性を取り除き、その更生を図るには、少年の個別的な問題性に応じた処遇を行うことが必要になります。このため、家庭裁判所においては、心理学、教育学、社会学などの行動科学の知見を活用した専門的な調査について訓練を受けている家庭裁判所調査官が、非行が起こったメカニズムを分析し、再非行を防ぐための手立てを検討するために、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などについて調べます（社会調査）。さらに、必要な少年に対しては、少年鑑別所において鑑別が行われることもあります。

また、個別的な処遇方法としては、保護処分として、保護観察、児童自立支援施設又は児童養護施設送致、少年院送致があり、保護観察と少年院送致については、運用上様々な処遇が用意されているほか、試験観察などの中間的な措置や家庭裁判所調査官による教育的な働き掛け（保護的措置）などがあります。刑事裁判の場合と異なり、少年の個別的な問題性に応じた処遇を選択することができるようになっていきます。

### (3) 職権主義

刑事裁判では、被告人と検察官の対立する当事者がお互いに攻撃や防御を行い、裁判所が第三者的立場から判断を下すという当事者主義的な構造がとられていますが、少年審判では、これと異なり、家庭裁判所が、少年の健全な育成を図るため、自ら少年に関する広範な調査を行い、審問を行う職権主義的な構造がとられています。

少年審判に関与する者は、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人、検察官、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員、学校の教師など多数にわたりますが、いずれも少年の健全な育成という目的の下に協力的な立場に関与するものとされています。

## 第2 少年審判手続の流れ

### 1 事件の受理

#### (1) 対象事件

##### ア 少年保護事件

これは、家庭裁判所に送られてきた少年を保護処分に付すかどうかを判断する事件で、家庭裁判所が取り扱う少年に関する事件の中の主なものです。その対象となる少年は、次の3種類があります。

##### (ア) 犯罪少年

1 4歳以上20歳未満の罪を犯した少年（法3条1項1号）

##### (イ) 触法少年

刑罰の定めのある法令に触れる行為をしたが、行為の時14歳未満であったため、刑法上罪を犯したことにならない少年（法3条1項2号）

##### (ウ) ぐ犯少年

20歳未満で、保護者の正当な監督に服しないとか、正当な理由がないのに家庭に寄り付かないとか、あるいはいかがわしい場所に入出入りするといった一定の行状があり、その性格や環境から見て将来罪を犯す又

は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年（法3条1項3号）

#### イ 強制的措置許可申請事件

これは、児童相談所等で取り扱っている児童について、適切な保護を行うため、児童の行動の自由を制限し、又はその自由を奪うような強制的な措置を必要とするときに、児童相談所等がそのような措置をとることの許可を求めて家庭裁判所にその児童を送致する事件です（法6条の7第2項）。

#### ウ 準少年保護事件

保護処分取消事件（法27条の2）、収容継続申請事件（少年院法138条、139条）、戻し収容申請事件（更生保護法71条、72条）及び施設送致申請事件（更生保護法67条2項、法26条の4）を準少年保護事件といい、これらの事件の手続は、性質に反しない限り少年保護事件のそれと同様です（法27条の2第6項、少年院法138条5項、139条3項、法26条の4第3項）。

### (2) 事件受理の態様

家庭裁判所が少年保護事件を受理する方法としては、警察(司法警察員)からの送致(法41条)、検察官からの送致(法42条)のほか、知事又は児童相談所長からの送致(児童福祉法27条1項4号、法3条2項)。家庭裁判所調査官からの報告(法7条1項)、一般人からの通告(法6条1項)があります。また、強制的措置許可申請事件は、知事又は児童相談所長から送致されます(法6条の7第2項、児童福祉法27条の3)。

刑事事件における裁判所への事件の係属は、原則として検察官による公訴の提起に限られています（刑事訴訟法247条）が、少年事件の場合には、一般人を含めて、少年の健全な育成に関心を持つ者からの通告などによっても、事件を家庭裁判所に係属させる制度をとっているのが特徴です。

## 2 観護措置

### (1) 意義

観護措置とは、家庭裁判所が調査や審判をするために、少年の心情の安定を図りながら、少年の身柄を確保しておく措置をいいます。これには、少年を家庭などに置いたまま、家庭裁判所調査官が随時連絡を取って少年を観護するもの（法17条1項1号）と、少年を少年鑑別所に収容するもの（法17条1項2号）の2種類がありますが、前者はほとんど利用されておらず、通常、観護措置というときは後者を指します。

後者の観護措置では、少年を少年鑑別所に収容することによりその身柄を確保するとともに、少年の行動を観察しながら鑑別を行います。そして、鑑別の結果は家庭裁判所に報告され、調査や審判の資料とされます。以下では、後者の観護措置を前提として、説明します。

## (2) 手続

### ア 通訳人の氏名などの確認及び宣誓

家庭裁判所調査官による面接（後記イ）や裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前提として、まず、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、調査や審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

### イ 家庭裁判所調査官による面接

裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前に、家庭裁判所調査官が短時間少年に面接し、観護措置の要否について家庭裁判所調査官の立場からの意見を裁判官に提出する場合があります。家庭裁判所調査官による面接では、少年の氏名や生年月日、国籍、非行事実などの確認が行われるほか、少年審判手続についての一般的な説明も行われます。

### ウ 裁判官による観護措置決定手続

#### (ア) 少年の氏名などの確認

裁判官は、直接少年に会った上で、少年に対し、少年の氏名、生年月

日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

(イ) 黙秘権及び付添人選任権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権及び付添人選任権を告げます。少年は裁判官の質問に対し、無理に答える必要はありません。また、少年事件において家庭裁判所の審判の協力者としての役割とともに、刑事事件の弁護人のような役割を果たす人を付添人といいますが、少年に付添人を選任できる権利（法10条）があることも分かりやすく説明します。

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の弁解を聴きます。

(エ) 決定の告知

裁判官は、少年に対し、観護措置をとる場合にはその旨の決定を告げ、観護措置をとらない場合にはその旨を告げます。

(オ) ウィーン条約の説明

裁判官が外国籍の少年について観護措置をとる旨の決定をした場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限ります。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

(3) 期間など

少年を少年鑑別所に収容することができる期間は、原則として2週間ですが、特に継続の必要があるときは、更新することができます（法17条3項）。更新は原則として1回を超えて行うことはできませんが、例外的に、更に2回を

限度として行うことができます（法17条4項）。したがって、少年を少年鑑別所に収容しておくことのできる期間は、最長8週間ということになります。

通常は、少年鑑別所において行う少年の行動観察や鑑別のために相当の期間を要するため、4週間近く収容されることが多いのが実情です。また、観護措置は、その必要がなくなったときは、いつでも取り消すことができます（法17条8項）。

### 3 調査

#### (1) 裁判官による法的調査

家庭裁判所が事件を受理すると、裁判官は、まず捜査機関から送られてきた記録を検討して、少年に本当に非行があるのかどうかを調査します（法的調査）が、記録を検討した結果、少年に非行があるとの蓋然的心証を得た場合には、家庭裁判所調査官に対し、少年の要保護性についての調査（社会調査）を命じます。しかし、少年が捜査段階で非行事実を否認している場合や、証拠関係に不明な点があって、非行事実の認定に問題があると裁判官が考えた場合には、家庭裁判所調査官に調査を命じる前に、審判を開き、その点について直接少年の弁解を聴き、証人などを調べる場合もあります。

#### (2) 家庭裁判所調査官による社会調査

家庭裁判所調査官は、裁判官から調査を命じられると、行動科学等の専門的知識を活用して、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などを調べ（社会調査）、非行の背景やメカニズムを分析するという役割を担っています。社会調査は、少年が非行を繰り返す傾向の強さ、その傾向を取り除くことのできる可能性、そして保護処分という手段で矯正することのできる可能性といった要素（要保護性といいます。）を検討するために行われます。。社会調査は、家庭裁判所調査官が主に少年や保護者などと面接して行われ、少年鑑別所に収容されている少年に対しては、少年鑑別所に出向いて行われます。少年との面接の際には、家庭裁判所調査官が、少年の氏名、生年月日、国籍や



非行事実などを確認するほか、少年の生育歴、入国の経緯、日本での生活状況、非行の経緯や背景などを聴きますが、一般的な手続の説明なども行います。

また、家庭裁判所調査官が少年の家に出向いて家庭などの状況を見てくるとや学校などに照会することもあります。調査に当たっては、少年の情操や名誉を傷つけないように、また、関係者の秘密が守られるように、十分な注意が払われています。

家庭裁判所調査官は、調査結果と少年が立ち直るために必要な処遇に関する意見を少年調査票という書面にまとめ、裁判官に報告します。

#### 4 審判

##### (1) 審判の開始

裁判官は、家庭裁判所調査官の調査結果などを検討した上で、審判を開く必要があるかどうかを決めます。少年が事実を認めており、かつ、事案が軽微であり、調査の過程における家庭裁判所調査官からの教育的な働き掛けなどにより十分な手当てがされているなどの理由から、審判を開いて指導を行う必要がないと判断した場合には、審判不開始決定をして裁判官が少年に直接働き掛けを行うことなく手続を終了させます。少年が事実を否認している場合や保護処分（保護観察、少年院送致等）などの手当てをする必要があると判断した場合には、審判開始決定をして審判を開きます。

なお、少年が逮捕、勾留などにより身柄が拘束されたまま家庭裁判所に送致されて観護措置がとられたような場合には、調査命令を発する際に併せて審判開始決定をするのが一般です。

##### (2) 審判の場所、関与者など

審判は、原則として家庭裁判所の審判廷で行われ、非公開の場で、懇切を旨として、和やかに行うとともに、少年に対し、自己の非行について内省を促すものとされ（法22条1項）、少年の情操の保護が図られています。

審判には、裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、少年及び少年の保護

者が出席し、場合によっては、付添人、検察官、学校の教師、雇い主、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員などが出席することもあります。また、一定の重大な事件では、被害者等が審判を傍聴することもあります。

なお、裁判官については、1人の場合と3人の場合があります。重大事件などについては3人の合議体で審判が行われ、そのうちの1人が裁判長として手続を進めます。以下では裁判官が1人の場合について記述しますが、3人の合議体で審判が行われた場合にも、基本的に同じです。

### (3) 手続

#### ア 審判開始の宣言

審判を開始するに当たっては、まず、裁判官が審判の開始を宣言します。

#### イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓

通訳人の氏名などの確認や宣誓が審判の前に行われていないときには、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。

通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

#### ウ 少年の氏名などの確認

裁判官は、少年に対し、少年の氏名、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

#### エ 黙秘権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権を告げます。

#### オ 非行事実の審理

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の言い分を聴き、その上で捜査機関から送られてきた少年に不利な証拠の内容を告げて、これについて言い分を述べる機会を与えます。必要な場合には、証人尋問などの証拠調べも行われます。審判の進め方や証拠調べの範囲、方法などについては、裁

判官の裁量に委ねられていますが、この裁量も無制限ではなく、合理的なものでなければならないとされています。また、保護処分の決定を行うには、非行事実の存在について、間違いがないとの確信（合理的な疑いを超える確信）が必要とされています。

#### カ 要保護性の審理

裁判官は、非行事実の審理の結果、非行事実の存在について確信した場合には、続いて、少年の要保護性についての審理を行います。裁判官は、主として家庭裁判所調査官の作成した少年調査票や少年鑑別所の鑑別結果報告書の内容を踏まえて、少年や保護者に対し、非行の動機・原因のほか、少年自身の生い立ち、少年の家族関係、学校、職場などの環境などについて、そのポイントとなる点を確認し、あるいは自発的な発言を促してその言い分を十分に聴きます。また、その他の関係者から必要に応じて意見を述べてもらうこともあります。

#### キ 決定の告知

裁判官は、調査や審判の結果に基づいて、少年の非行事実及び要保護性を総合的に検討し、個々の少年の健全な育成のために最もふさわしい処分を決定し、少年にそれを告げます。

裁判官が審判で行う処分としては、次のようなものがあります。

##### (ア) 保護処分

###### a 保護観察

少年を家庭や職場に置いたまま、保護観察官や保護司が少年に対して指導監督と補導援護を行い、少年の改善更生を図るものです（法24条1項1号）。

###### b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致

児童自立支援施設や児童養護施設という児童福祉施設に少年を送って教育や養護を行うものです（法24条1項2号）。

c 少年院送致

少年を少年院という特別の矯正教育施設に収容して、少年が健全なものの考え方や規則正しい生活習慣を身に付けることができるように指導するものです（法24条1項3号）。少年院には、第1種から第4種までの4種類がありますが、家庭裁判所が少年を送致するのはこのうち第1種から第3種までの少年院です。少年を送致する少年院の種類は、決定において定められます。また、家庭裁判所は、第1種少年院に少年を送致する場合には、短期間（6か月）又は特別短期間（4か月）で処遇を終えることが適当である旨の処遇勧告を付すことができ、その場合には、少年院長は家庭裁判所の処遇勧告をそのまま受け入れる運用が行われています。

(イ) 不処分

審判の結果、非行事実が認められない場合や、非行事実が認められても、特に保護処分に付すまでの必要はないと認められた場合に行われるもので、少年を保護処分に付さないことを宣言するものです（法23条2項）。

(ウ) 知事又は児童相談所長送致

少年を児童福祉施設に入所させたり、少年に児童福祉司や児童委員による指導を受けさせたりするなど、児童相談所の措置に委ねることが適当であると認められた場合に行われるものです（法23条1項、18条1項）。

(エ) 検察官送致

死刑、懲役又は禁錮に当たる罪の事件について、調査をした上、その事件の重大性や犯情、さらには、少年の犯罪的危険性、非行歴などから判断して、刑罰を科すのが相当と認められるときに、事件を検察官に送致するものです。また、殺人や傷害致死など故意の犯罪行為によって被

害者を死亡させた罪の事件であって、犯行時に16歳以上の少年に係るものについては、原則として事件を検察官に送致することとされています（法23条1項、20条）。

送致を受けた検察官は、犯罪の嫌疑がある限り、原則として、刑事裁判所に公訴を提起（起訴）しなければならないとされています（法45条5号）。

なお、このほかに、本人が20歳以上であることが判明したときにも、事件を検察官に送致する決定が行われます（法23条3項、19条2項）。

観護措置がとられている事件について、検察官送致の決定をするときは、あらかじめ、本人に対し、罪となるべき事実や弁護人を選任することができる旨などが告げられます。さらに、死刑又は無期若しくは長期3年を超える懲役若しくは禁錮に当たる事件については、本人に対し、貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨などが告げられます（少年審判規則24条の2）。

#### (オ) 試験観察

試験観察とは、家庭裁判所が直ちに保護処分を選択するかどうかの最終決定を行いにくい場合に、(ア)から(エ)までのような最終的な決定を留保したまま、少年の非行性や更生可能性を見定めるために、相当の期間、少年を家庭裁判所調査官の観察に付すという中間的な決定です。その際には、併せて、遵守事項を定めてその履行を命じたり、適当な施設や個人などに少年の補導を委託したり（これを「補導委託」といいます。）するなどして、少年の行動を観察することもあります（法25条）。

#### (カ) 没取

没取とは、犯罪少年や触法少年について、審判不開始決定や（ア）から（ウ）までの決定等をするに当たり、犯罪に利用した凶器など一定の物の所有権を少年から剥奪し、国庫に帰属させるために行われる処分です（法24条の2）。

（キ） 訴訟費用の負担

家庭裁判所へ送致される前に少年に国選弁護人が付された事件について、不処分又は保護処分の決定がされた場合には、家庭裁判所は、少年に対し、その国選弁護費用（訴訟費用）を負担させることができます（法45条の3、刑事訴訟法181条1項）。

ク 保護処分の趣旨の説明

裁判官は、保護処分の決定を告げる場合には、少年及び保護者に対し、保護処分の趣旨を懇切に説明し、これを十分に理解させます（少年審判規則35条1項）。

ケ 抗告権の告知

裁判官は、保護処分の決定を告げた場合には、少年及び保護者に対し、決定に不服があるときは2週間以内に抗告申立書を裁判所に差し出して抗告をすることができる旨を告げます（少年審判規則35条2項）。

コ ウィーン条約の説明

裁判官が少年院送致や少年院への戻し収容の決定を告げた場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の本国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限りです。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

5 検察官及び弁護士である付添人が関与した審理

検察官は、原則として少年審判に関与しませんが、家庭裁判所は一定の罪の事

件で、その事実認定手続に検察官が関与する必要があると認めるときは、審判に検察官を出席させることができます（法 22 条の 2）。この場合に、家庭裁判所は、少年に弁護士である付添人がないときは、弁護士である付添人を付すこととされています（法 22 条の 3 第 1 項）。

また、検察官が関与しない場合でも観護措置がとられている一定の罪の事件に係る犯罪少年や触法少年の審判において、事案の内容、保護者の有無その他の事情を考慮し、必要があると認めるときは、弁護士である付添人を付することができることとされています（法 22 条の 3 第 2 項）。

このようにして検察官や弁護士である付添人が出席した審判においては、検察官や付添人から証拠調べの申出がされたり、少年や証人などに対して質問がされたりします。ただし、刑事裁判と異なり、検察官や付添人は家庭裁判所の審判の協力者として関与します。

## 6 被害者等の傍聴

少年審判は原則として非公開ですが、犯罪少年又は触法少年が起こした一定の重大な事件の被害者等は、裁判所の許可を受けて少年審判を傍聴することができます。被害者等から傍聴の申出があった場合には、裁判所は、少年の年齢及び心身の状態、事件の性質、審判の状況その他の事情を考慮し、少年の健全な育成を妨げるおそれがなく相当と認めるときに限り、傍聴を許すことができます（法 22 条の 4）。

## 第2編 通訳に当たっての注意事項

第1編で少年審判の概要をおおむね御理解いただけたことと思います。通訳人の皆さんは、この少年審判の中で、言葉の通じない外国人の少年や保護者などと少年審判に関与する他の人とのいわばパイプ役を果たしていただくこととなります。少年審判においては、まず、少年に調査や審判などで何が行われているかを十分に理解させる必要があります。そして、裁判官や家庭裁判所調査官と少年などとの意思の疎通を十分に行いながら審理を進めていかなければなりません。そのためには正確な通訳が必要です。

本編では、通訳人の皆さんに心得ておいていただきたい注意事項をまとめてみました。

### 第1 一般的注意事項

#### 1 良心に従って誠実に通訳を行ってください。

通訳人の皆さんには、通訳をするに当たってその旨の宣誓をしていただきます。これは、法律に基づくもので、適正な調査や審判などを実現するためのものです。

なお、故意に偽りの通訳を行いますと、処罰されることがあります。

#### 2 公正を保ってください。

少年審判は、偏りのない、公正な手続で行われなければなりません。通訳人も、通訳をするに当たっては、立場上公正さを疑われるような行動をとってはならないので、少年や保護者などと交友関係があるなど特別の関係にある場合には、直ちに申し出てください。警察や検察庁での当該少年に対する取調べに通訳人として立ち会ったことがある場合には、必ず裁判所にその旨を伝えてください。また、少年や保護者などに対して名刺を渡したり、電話番号を教えたりするなど、少年やその関係者から接触してくる機会を与えないようにしてください。



もちろん、一緒に飲食したり、贈り物を受け取ったりするなどの行為は、絶対に行わないでください。

3 職務上知り得た秘密を漏らさないでください。

少年事件の調査や審判は、少年の社会復帰を助けるため、非公開で行われ、その内容は、外部には知らされません。特に、少年の非行の内容が外部に知れると、少年が就職する妨げになったり、学校を退学になったりすることがあり、その更生に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

通訳人の方は、調査や審判などの過程で、事件の内容に関する様々なことを知ります。特に、調査や審判においては、その性質上、少年の生育環境や心身の状況など、少年のプライバシーに関することを知ることも多くあります。これらの内容は絶対に他に漏らさないでください。少年審判は、秘密性を重視して行われるものですから、秘密の保護には特に注意してください。家庭裁判所調査官による調査に際しては、少年と保護者の間でも秘密にされている事項についての話もよくありますので、これらについては、外部だけではなく、少年や保護者に対しても、絶対に漏らさないでください。

4 少年から調査や審判以外の場で質問されたり、話しかけられたりした場合にも、少年との会話の内容については十分に注意してください。

少年は、慣れない土地で身体の自由の拘束を受けるなどしていますので、自分の話す言葉を理解してくれる通訳人に様々な相談をすることもあるかと思われまます。しかし、通訳人の個人的な経験などから、審判の見通しや今後の手続などを話したりすると、これによって少年が誤った期待等を抱いてしまうおそれが多分にあります。通訳人は、少年の助言者ではありません。少年の保護者、友人などから問合せや相談があった場合も同様です。

5 裁判所では、通訳人の皆さんに、正確な通訳をしていただくために、少年の非行事実を記載した書類をお渡しすることがありますが、この書類は、審判が終了したらすぐに担当の裁判所書記官に返却してください。また、分からないことが

あれば、担当の裁判所書記官にお尋ねください。

## 第2 具体的注意事項

### 1 観護措置決定手続段階

観護措置決定手続は、少年を少年鑑別所に收容するか否かを決める重要な手続ですから、裁判官や少年が話したことを忠実に通訳してください。観護措置決定手続段階における注意事項は、基本的に審判段階におけるものと同様ですから、後記3を参考にしてください。

### 2 調査段階

- (1) 家庭裁判所調査官、少年及び保護者が話したことを忠実に通訳してください。

家庭裁判所調査官は、行動科学の専門的知識を背景に、少年との面接の中で、様々な角度から少年に質問、あるいは心理テストなどを行い、少年の要保護性を調査します。家庭裁判所調査官の質問に対する少年の返答内容や態度などは、全て少年の人格を理解するために重要な要素となり、また、家庭裁判所調査官は、少年の反応や性格などにより、質問方法を変化させていきます。したがって、家庭裁判所調査官の質問を正確に通訳し、少年や保護者の言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳したりすることは極力避けてください。また、少年や保護者が質問に対する答え以外にも話をしている場合や質問をしていないのに話を始めた場合にも、その発言を禁止せずに通訳してください。

- (2) 通訳するときに、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたりしないでください。

通訳は、発言をできるだけ忠実に通訳することが原則です。通訳人が評価を交えるなどすると、発言の本当の内容が相手に伝わらず、誤解を生じることになります。もし家庭裁判所調査官が少年や保護者の発言の意味を理解できない場合には問い直しますので、通訳人がコメントを付け加えることは遠慮してください。

なお、少年を理解する上で必要と思われるもので、少年の母国の文化などについて、どうしても少年が説明しきれず、通訳人が裁判所に伝えておくことが望ましいと思われるものがある場合には、その旨を申し出た上、家庭裁判所調査官の指示に従ってください。

- (3) 家庭裁判所調査官の質問に分からない言葉があるなど疑問があった場合には、遠慮なく家庭裁判所調査官に尋ねてください。

通訳人を付けた事件の場合、家庭裁判所調査官はできるだけ簡潔に質問をするなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問やいくつもの質問が一度にされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を家庭裁判所調査官に申し出てください。また、専門用語などで意味の分からない言葉があった場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なく申し出てください。質問の意味をよく理解しないまま通訳を行ったのでは、調査の目的は達せられません。

- (4) 少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年などに追加説明しないでください。

質問する側としては、答える側がどれだけ質問を理解したかを把握することも大切です。少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、そのまま答えを通訳した上で、よく理解できていない旨を家庭裁判所調査官に告げてください。家庭裁判所調査官は、質問を変えるなどの工夫を行います。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま調査を進めると、思わぬ誤解を生じるおそれがあります。

- (5) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、家庭裁判所調査官の方を向いたりして、合図をしてください。

### 3 審判段階

- (1) 裁判官、少年、証人その他の関係者が話したことを忠実に通訳してください。  
審判では、裁判官が同じ点について様々な角度から何度も尋ねることがあり

ます。これに対し、少年が同じようなことを繰り返しているように見える場合もあります。このような場合でも、それぞれの質問のニュアンスなどに注意して、言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳することは極力避けてください。また、通訳するときには、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたり、裁判官の指示によらないで少年らの発言を禁止したりしないでください。

- (2) 裁判官等の質問に意味の分からない言葉があるなど通訳がやりにくいと感じたときは、遠慮なくその旨を裁判官に申し出てください。

通訳人を付けた事件の場合、裁判官等はできるだけ簡潔にわかりやすく質問するなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問がされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を裁判官に申し出てください。また、質問の途中で難しい言葉が出てきた場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なくその旨を申し出てください。質問の意味などをよく理解しないまま通訳を行ったのでは、審判の目的は達せられません。

- (3) 少年や証人が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年らに説明することなく、そのまま答えを通訳した上で、十分に理解できていない旨を裁判官に告げてください。裁判官は質問の仕方を変えたりして工夫します。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま手続を進めると、思わぬ誤解を生じたりします。

- (4) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、裁判官の方を向いたりして、合図をしてください。

### 第3編 定型文言の対訳

〔一般的には、ここに記載されたような方式で行われますが、必ずしもここに書かれているとおりの内容が述べられるとは限りませんし、ほかの内容が述べられることもあります。なお、本編では、裁判官が1人で、検察官が関与しない審理について記載していますが、裁判官が3人である場合や検察官が関与する場合についても、以下に記載した手続の流れは基本的に同じです。〕

#### 第1 観護措置決定手続

##### 1 家庭裁判所調査官による面接を行う場合

〔ここに記載されているほかは、第2の2以下の内容を参考にしてください。〕

私は、家庭裁判所調査官の〇〇です。

最初に、私が、今回の非行や現在の生活状況などについて聴き、その後に裁判官の面接があります。

裁判官の面接では、もう一度、君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などが聴かれます。

裁判官の面接では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

事実と違う点や納得のできない点があれば、その機会に述べてください。

裁判官は、今回の非行の内容、君のこれまでの生活状況などを考慮して、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に収容する必要があるかどうかを判断します。

##### 2 前置き

私は、裁判官の〇〇です。

君について〇〇事件が送られてきました。

今後、君に本当に非行があるかどうかを確かめた上で、最終的な処分を決めて

Часть 1. Процедура принятия решения о мерах по защите несовершеннолетнего, совершившего акт делинквентного поведения

1. Собеседование с Инспектором Семейного суда

[Помимо изложенного здесь, см. также содержание пар. 2.2 и ниже] .

Меня зовут ○○, я являюсь Инспектором Семейного суда.

Сначала я спрошу тебя об акте делинквентного поведения (проступке, правонарушении, преступлении), который ты совершил(а), а также о твоих условиях жизни в настоящее время. Затем у тебя будет собеседование с судьей.

На собеседовании с судьей тебя еще раз попросят назвать твоё имя и фамилию, дату рождения, профессию (занятость), гражданство, место проживания в Японии и т.д.

На собеседовании с судьей тебе будет изложена суть акта делинквентного поведения (проступка, правонарушения, преступления), в котором тебя обвиняют, и будет предоставлена возможность для дачи оправданий.

Если ты заметишь что-то, что не соответствует действительности или с чем ты не согласен (не согласна), скажи об этом, когда тебе будет предоставлено слово для оправданий.

С учетом сути совершенного тобой акта делинквентного поведения (проступка, правонарушения, преступления), условий жизни, в которых ты находился (находилась) до настоящего времени и прочих факторов, судья примет решение о том, следует ли направить тебя в Центр классификации несовершеннолетних с целью того, чтобы в этом Центре провели подробное изучение твоих проблемных моментов.

2. Вводная часть

Меня зовут ○○, я являюсь судьей Семейного суда.

Ко мне поступило дело об акте делинквентного поведения (о проступке, правонарушении, преступлении), касающееся тебя.

いくこととなりますが、今日は、その前提として、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に送致する必要があるかどうかを決めます。

これからの手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の言っている意味が分からないときは、何でも遠慮なく聞いてください。

### 3 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

### 4 黙秘権の告知

これからいくつか質問しますが、君は無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

しかし、言いたいことがあれば、遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

### 5 付添人選任権の告知

君や君のお父さん、お母さんなどの保護者は、今回の審判のために、付添人を頼むことができます。

付添人とは、裁判所の審判に協力しながら、君の権利を守ったり、相談に乗ってくれたりする人です。

弁護士以外の人を付添人に頼む場合は、家庭裁判所の許可が必要です。

### 6 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。

よく聞いておいてください。

В дальнейшем, после того, как будет подтвержден факт того, совершил ли ты на самом деле этот акт делинквентного поведения (проступка, преступления) или нет, в отношении тебя будет принято окончательное решение о мерах воздействия на тебя. Однако сегодня, в качестве меры предварительного характера, я должен буду принять решение о том, есть ли необходимость направить тебя в Центр классификации несовершеннолетних с целью того, чтобы в этом Центре провели изучение твоих проблемных моментов.

При проведении всех процедур, которые тебе необходимо будет пройти, будет присутствовать устный переводчик, назначенный судом. Переводчик принес клятву о том, что он будет переводить точно и не искажать смысл исходного текста.

Если тебе будет непонятно что-либо из того, что я сказал, не стесняйся переспрашивать.

3. Уточнение фамилии, имени несовершеннолетнего и т.д.

Как тебя зовут?

Назови твою дату рождения.

Какое у тебя гражданство? (Гражданином какой страны ты являешься?)

Где ты проживаешь в Японии?

Где ты работаешь?

4. Уведомление о праве хранить молчание

Теперь я хочу задать тебе несколько вопросов, однако ты можешь не отвечать на них против твоей воли. Даже если ты будешь молчать, это не будет обращено против тебя.

Однако, если ты хочешь что-то сказать, говори без стеснения.

Но учти, что все то, что ты скажешь, может быть использовано в качестве доказательств, невзирая на то, будет ли это сделано в твою пользу или же обращено против тебя.

5. Уведомление о праве назначения сопровождающего лица

Твой отец и мать (или иное лицо, на попечении которого ты находишься), имеют право назначить тебе сопровождающее лицо для производства по данному делу.

Сопровождающее лицо – это человек, который будет оказывать сотрудничество рассмотрению дела в суде, а также защищать твои права и помогать тебе советом.

В случае если в качестве сопровождающего лица назначается не адвокат (защиты), а иное лицо, для этого необходимо получить разрешение Семейного суда.

6. Уведомление о факте акта делинквентного поведения (проступка, преступления)

Теперь я зачитаю тебе содержание дела, присланного из прокуратуры (полиции).

Слушай, пожалуйста, внимательно.



[第4 (非行事実の告知) 参照]

7 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

8 観護措置をとらない場合

君を少年鑑別所に送致しないことにします。

今日は帰ってもらいます。

しかし、これで裁判所の手続が終わったわけではありません。

後日、調査や審判の呼出しがありますから、そのときは必ず裁判所に来てください。

9 観護措置をとる場合 (決定の告知等)

君を少年鑑別所に送致することにします。

少年鑑別所にいる期間は、通常、最長4週間です。なお、場合によっては、最長8週間まで更新されることがあります。

その間、少年鑑別所の技官や家庭裁判所調査官が君の性格、環境などに問題がないかどうか、あるとすれば何かといったことを知るため、心理テストや調査を行うこととなります。この調査等にはできる限り応じてください。

また、自分自身や生活面の問題点は何か、それをどのように直していくかについて、審判で裁判官に説明できるように考えを整理しておいてください。

10 少年鑑別所収容の通知の説明

君が少年鑑別所に収容されることは、君のお父さん、お母さんなどの保護者に通知します。

誰への通知を希望しますか。

その人の名前と住所及び君とその人との関係を教えてください。

11 ウィーン条約の説明

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

(См. №4 «Уведомление о факте акта делинквентного поведения (проступка, преступления)»)

7. Заслушивание оправданий несовершеннолетнего

Если тебе что-то было непонятно из того, что я сейчас зачитал(а), или же в том, что я зачитал(а) было что-то, что не соответствует действительности, говори об этом без стеснения.

8. В случае если меры по защите решено было не принимать

Я принял(а) решение не отправлять тебя в Центр классификации несовершеннолетних.

Сегодня ты можешь идти домой.

Однако, это не означает, что производство на этом закончилось.

В дальнейшем тебя вызовут для проведения расследования, а также на суд. Тебе необходимо будет в обязательном порядке явиться в суд.

9. В случае принятия мер по защите (уведомление о решении)

Я принял(а) решение отправить тебя в Центр классификации несовершеннолетних.

Как правило, максимальный период нахождения в Центре классификации несовершеннолетних составляет 4 недели. Однако, в некоторых случаях этот период может быть продлен до 8 недель.

Во время пребывания в Центре классификации несовершеннолетних технические сотрудники Центра классификации несовершеннолетних и инспектор Семейного суда проведут твое психологическое тестирование и изучение, касающееся твоей личности, чтобы выяснить, нет ли каких-либо проблем в твоём характере и в условиях твоей жизни, и если такие проблемы имеются, то также чтобы узнать, какие именно. Прошу тебя по возможности помогать им в проведении изучения и т.д.

Кроме того, чтобы потом суметь объясниться на суде перед лицом судьи, прошу тебя также хорошо подумать над тем, какие проблемы, касающиеся тебя самого (самой) или условий твоей жизни (социальной среды, которая тебя окружает), беспокоят тебя лично, а также каким образом можно было бы решить их.

10. Разъяснение, касающееся уведомления о помещении в Центр классификации несовершеннолетних

Тот факт, что ты будешь отправлен(а) в Центр классификации несовершеннолетних, должен быть доведен до сведения твоего отца, матери или иных опекунов.

Кому ты хочешь, чтобы мы сообщили?

Назови, пожалуйста, имя, фамилию и домашний адрес этого человека, а также поясни, какое отношение к тебе имеет этот человек.

11. Разъяснения, касающиеся Венской конвенции

(за исключением тех случаев, когда информирование осуществляется на основе двусторонних соглашений (соглашений между двумя странами, а не Венской конвенции))

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、警察や検察官が通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

## 第2 調査手続

### 1 前置き

私は、君の担当の家庭裁判所調査官の〇〇です。

君について、〇〇事件が検察官（警察）から家庭裁判所に送られてきました。

今日は、この事件のことや君のこれまでの生活、家族のことなどについて話を聴きたいと思います。

今日は、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

### 2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

### 3 手続の説明

家庭裁判所では、本当に君に非行があるかどうかを確認します。

君に非行がある場合は、どうしてそういうことをしてしまったか、今後繰り返さないためにはどうしたらよいかということを考え、どのような指導や教育が

Согласно положениям Венской конвенции о дипломатических сношениях, если ты изъявляешь желание, мы можем сообщить о тебе в посольство твоей страны в Японии.

Однако, это возможно только в том случае, если полиция или прокуратура еще не сообщили о тебе.

Ты хочешь, чтобы о тебе сообщили?

Ты можешь отправить письмо в посольство твоей страны, только если содержание его не противоречит законам Японии.

## Часть 2. Процедура расследования (следствия)

### 1. Вводная часть

Меня зовут ○○. Я являюсь инспектором (следователем) Семейного суда и буду вести твое дело.

Из прокуратуры (полиции) в Семейный суд было прислано дело о ○○, касающееся тебя.

Сегодня мне хотелось бы, чтобы ты рассказал мне об этом деле, а также о том, какой образ жизни ты вел(а) до этого, о твоей семье и т.д.

Наш разговор будет переводить устный переводчик, назначенный Семейным судом.

Переводчик принес клятву о том, что он будет переводить точно и не искажать смысл исходного текста.

Если тебе будет непонятен смысл моих вопросов, не стесняйся и переспрашивай.

### 2. Уточнение фамилии, имени несовершеннолетнего и т.д.

Как тебя зовут?

Назови твою дату рождения.

Какое у тебя гражданство?

Где ты проживаешь в Японии?

Где ты работаешь?

### 3. Разъяснения, касающиеся процедуры

В Семейном суде нам необходимо будет выяснить, совершил(а) ли ты на самом деле акт делинквентного поведения (проступок, правонарушение, преступление).

В случае если делинквентность действительно имеет место быть, нужно будет подумать, почему ты совершил(а) этот поступок, а также о том, что необходимо сделать для того, чтобы не повторять этого в дальнейшем. С учетом того, какие меры воспитательного и образовательного характера необходимо принять по отношению к тебе, будет принято решение о наиболее подходящих для тебя мерах воздействия.

Сегодня мне хотелось бы вместе с тобой подумать о том, в чем причины твоего поступка.

必要かを考慮して最も適当な処分を決めています。

今日は、今回の事件の原因を君と一緒に考えたいと思います。

君から聴いた内容は、裁判官に報告します。

裁判官は、その内容を踏まえた上で、君の処分を決めます。

#### 4 審判の説明

審判は、裁判の一種です。

審判は、原則として非公開で行うことになっています（が、この事件については、裁判所が被害者等に審判を傍聴することを許可しましたので〔被害者等から傍聴の申出が出ていますので、これを裁判所が許可すれば〕、被害者等が審判を傍聴することができます。傍聴が許されるのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重するためであることをよく理解してください。）。

審判廷には、裁判官のほか、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、君、君の保護者、君の付添人などが出席します。

審判では、裁判官が君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを確認します。

審判では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

君も、審判までに、今回の非行の原因や今後の生活などをよく考えておいてください（また、被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。）。

そして、審判の時には、君の考えていることを率直に話すようにしてください。

また、事実と違う点や納得できない点があれば、その機会に述べてください。

#### 5 処分の説明

家庭裁判所の行う処分には、施設に入って生活指導などを受けるものとして少年院送致、児童自立支援施設送致及び児童養護施設送致があります。

Обо всем, что ты мне расскажешь, я должен буду отчитаться перед судьей.

С учетом содержания этого отчета, судья будет решать, как с тобой поступить.

#### 4. Разъяснения, касающиеся суда

Слушание с целью принятия решения (рассмотрение) на Семейном суде – это один из видов суда.

Как правило, заседания Семейного суда проводятся при закрытых дверях (однако, что касается этого дела, суд дал разрешение присутствовать на заседании пострадавшей стороне [если со стороны пострадавшего (пострадавшей) поступает заявление с просьбой присутствовать на заседании суда, и суд дает такое разрешение] , поэтому пострадавший (пострадавшая) будет присутствовать на слушаниях. Я хочу, чтобы ты хорошо усвоил(а) себе, что присутствие на слушаниях разрешается для того, чтобы уважать желание пострадавшего (пострадавшей) своими глазами увидеть и узнать подробности того, как проходит слушание по делу). Помимо судьи (судей), на заседании Семейного суда будут присутствовать инспектор (следователь) Семейного суда, судебный секретарь, ты, твои родители (опекуны), твое сопровождающее лицо и т.д.

Судья еще раз спросит у тебя твое имя и фамилию, дату рождения, профессию (занятость), гражданство, адрес в Японии и т.д.

На суде тебе будет зачитано содержание акта делинкветного поведения, который вменяется тебе в вину, а также будет предоставлена возможность для дачи оправданий.

Прошу тебя до начала суда как следует подумать о причинах твоего поступка, а также о том, какой образ жизни тебе следует вести в дальнейшем. (Опять же, пострадавший (пострадавшая) будет присутствовать на слушании по делу, поэтому держи себя в руках и старайся спокойно и сдержанно излагать свои мысли).

Во время слушаний старайся излагать свои мысли откровенно и прямо.

Кроме того, если есть что-то, с чем ты не согласен (не согласна), или же что-то, что не соответствует действительности, непременно скажи об этом во время своей оправдательной речи.

#### 5. Разъяснения, касающиеся решения о мерах воздействия

Меры воздействия, которые могут быть назначены Семейным судом, подразумевают направление в учебно-воспитательное учреждения для проживания, обучения и воспитания. В качестве таких учреждений существуют школы производственной подготовки, учреждения для содействия развитию способностей для самостоятельной жизни и детские дома.

Есть также меры по постановке на учет в службу пробации, когда несовершеннолетний находится под пробационным контролем со стороны

また、社会の中で保護観察官や保護司から指導を受ける保護観察もあります。

さらに、検察官送致とって、事件を刑事裁判に回して大人と同様に罰金や懲役という刑罰によって責任をとってもらおうようにすることもあります。

君が十分に反省しており、二度と非行を繰り返すおそれがないと思われる場合には、これらの処分を行わないで事件を終了させることもあります。

また、審判を開かずに今回の手続を終わらせることもあります。

そのほかに、試験観察という中間的な処分もあります。これは、最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を適当な人の所に預けて補導してもらったり、家に帰って普通の社会生活をしたりする中で、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

なお、家庭裁判所による処分がなくても、入国管理当局の判断で、国外退去などを命じられることがあります。

### 第3 審判手続

#### 1 審判開始の宣言

今から、審判を開いて、君の処分を決めることにします。

今日の手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。

通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

#### 2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

#### 3 黙秘権の告知

инспекторов службы пробации и добровольных работников (волонтеров) службы пробации без изоляции от общества.

Встречаются также случаи, когда Семейный суд постановляет передать дело в уголовный суд (переслать дело прокурору), и тогда виновный должен будет понести уголовную ответственность (штрафы, тюремное заключение) наравне с совершеннолетними преступниками.

В том случае, если ты искренне раскаиваешься в содеянном и нет опасности повторного совершения актов делинквентного поведения, после рассмотрения дело может быть закрыто без принятия каких-либо мер вообще.

Встречаются также случаи, когда дело закрываются прямо на этом этапе, без рассмотрения вообще.

Помимо перечисленного, существует также промежуточная мера – временная пробация (помещение на время испытательного срока под надзор службы пробации). В этом случае, прежде чем принять окончательное решение о мерах воздействия, в течение определенного срока ты будешь находиться под опекой надлежащего человека или же вернешься домой к привычной жизни, однако за твоими действиями и образом жизни будут наблюдать. По истечении испытательного срока судебное слушание будет проведено еще раз, после чего будет принято окончательное решение.

Следует добавить, что даже если Семейный суд постановит не предпринимать по отношению к тебе каких-либо мер, по решению Иммиграционной службы тебе может быть приказано покинуть пределы Японии и т.д.

### Часть 3. Судопроизводство

#### 1. Присяга перед началом слушания

Сейчас мы начинаем слушание по твоему делу, после чего будет принято судебное решение.

На сегодняшнем заседании присутствует устный переводчик, назначенный судом. Переводчик принес клятву о том, что он будет переводить точно и не искажать смысл исходного текста.

Если тебе будет непонятен смысл моих вопросов, не стесняйся и переспрашивай.

#### 2. Уточнение фамилии, имени несовершеннолетнего и т.д.

Как тебя зовут?

Назови твою дату рождения.

Какое у тебя гражданство?

Где ты проживаешь в Японии?

Где ты работаешь?

#### 3. Уведомление о праве хранить молчание



これから君に質問をしていきますが、君はこれらに無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

言いたいことがあれば、何でも遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

#### 4 被害者等の傍聴がある場合の説明

この事件では、被害者等が審判を傍聴しています。傍聴を許可したのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重したためです。被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。

#### 5 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。よく聞いておいてください。

〔第4（非行事実の告知）参照〕

#### 6 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

#### 7 証人尋問手続

今から、あなたをこの事件の証人として尋問します。

まず、うそをつかないという宣誓をしていただきます。宣誓書の内容を読み上げてください。

（証人）「良心に従って、ほんとうのことを申します。知っていることをかくしたり、無いことを申したりなど、決して致しません。以上のとおり誓います。

証人〇〇」

では、宣誓書に署名押印してください。

証人は、今宣誓したように本当のことを証言してください。

Теперь я хочу задать тебе несколько вопросов, однако ты можешь не отвечать на них против своей воли. Даже если ты будешь молчать, это не будет обращено против тебя.

Однако, если ты хочешь что-то сказать, говори без стеснения. Однако, все то, что ты скажешь, может быть использовано в качестве доказательств, невзирая на то, будет ли это сделано в твою пользу или же обращено против тебя.

4. Разъяснения в случае, если на заседании присутствует пострадавшая сторона  
Это дело рассматривается в присутствии пострадавшего (пострадавшей). Присутствие на слушаниях разрешено для того, чтобы уважать желание пострадавшего (пострадавшей) своими глазами увидеть и узнать подробности того, как проходит слушание. Несмотря на то, что на слушании присутствует пострадавший (пострадавшая), будь спокоен (спокойна) и старайся излагать свои мысли точно и сдержанно.
5. Уведомление о факте акта делинквентного поведения (проступка, преступления)  
Сейчас я зачитаю содержание дела, присланного из прокуратуры (полиции). Слушай, пожалуйста, внимательно.  
(См. №4 «Уведомление о факте акта делинквентного поведения (проступка, преступления)»)
6. Заслушивание оправданий несовершеннолетнего  
Если тебе что-то было понятно из того, что я сейчас зачитал(а), или же в том, что я зачитал(а) было что-то, что не соответствует действительности, говори об этом без стеснения.
7. Процедура, касающаяся допрашивания свидетелей  
Теперь приступаем к допрашиванию свидетелей по делу.  
Прежде всего, просим свидетеля принести клятву говорить правду. Свидетель, зачитайте, пожалуйста, текст клятвы.  
(Свидетель) «Я, свидетель ○○, клянусь говорить только правду, ничего не утаивая и ничего не добавляя, как велит мне моя совесть».  
Свидетель, поставьте, пожалуйста, Вашу печать на этом листе со словами клятвы.  
Свидетель, прошу Вас давать только правдивые свидетельские показания в соответствии со словами клятвы, которую Вы только что произнесли.  
Если несмотря на данную Вами клятву, Вы будете говорить неправду, Вы можете быть привлечены к ответственности за дачу ложных показаний.

宣誓の上でその証言をすると、偽証罪で処罰されることがあります。

証言することによって証人自身又は証人の近親者が刑事訴追を受けたり、有罪の判決を受けたりするおそれのある事柄については、証言を拒むことができます。その場合には、申し出てください。

〔証人尋問の実施〕

以上で証人尋問を終わります。

証人は、御苦労さまでした。

#### 8 聴取の終了

これで話を聴くのを終わりにして、君に対する処分を決めることにします。最後に何か言っておきたいことがあれば言ってください。

#### 9 調査官の意見陳述

既に提出している少年調査票記載の意見欄のとおりで、特に付け加えることはありません。

#### 10 付添人の意見陳述

意見書のとおりで、特に付け加えることはありません。

#### 11 決定などの告知及びその説明

それでは、今から君の処分を告知します。

〔第5（決定などの告知及びその説明）参照〕

#### 12 抗告権の告知（保護処分に付された場合）

この決定に不服があるときは、君や君の法定代理人及び付添人は、抗告することができます。

抗告する場合には、2週間以内に、〇〇高等裁判所宛ての抗告の申立書をこの裁判所に出してください。

抗告の申立書は、少年院などの施設の長又はその代理者を通じて出すことができます。

#### 13 ウィーン条約の説明（少年院送致や少年院への戻し収容の場合）

Если Вы опасаетесь того, что какие-либо из Ваших показаний могут привести к тому, что против Вас лично или же против Ваших близких родственников может быть начато уголовное преследование или вынесен обвинительный приговор, Вы имеете право отказаться от дачи таких показаний. Однако, в этом случае предупредите, пожалуйста, суд.

(Проведение допроса свидетеля).

На этом я завершаю допрос свидетеля.

Благодарю Вас, свидетель.

#### 8. Завершение слушания

На этом я завершаю слушание по делу и перехожу к вынесению решения. Если ты хочешь что-то сказать в заключение, говори, пожалуйста.

#### 9. Заявление инспектора

Мое мнение изложено в предоставленном мной ранее Отчете о расследовании по делу о несовершеннолетнем. Мне нечего добавить по этому делу.

#### 10. Заявление сопровождающего лица

Мое мнение изложено в письменном заявлении, мне нечего добавить.

#### 11. Разъяснения, касающиеся уведомления о решении и т.д.

Итак, сообщаю свое решение по твоему делу.

(См. Часть 5 «Разъяснения, касающиеся уведомления о решении и т.д.»)

#### 12. Уведомление о праве на апелляцию (в случае если по отношению к несовершеннолетнему решено было принять меры по защите)

Если ты не согласен с этим решением, ты и твой законный представитель/сопровождающее лицо) можете подать апелляцию.

Для подачи апелляции необходимо в двухнедельный срок подать в этот суд заявление на апелляцию, адресованное Суду апелляционной инстанции ○○.

Заявление на апелляцию может быть передано через директора Школы профессиональной подготовки и т.д., или его доверенного лица.

#### 13. Разъяснения, касающиеся Венской конвенции (в случае направления или повторного помещения в Школу профессиональной подготовки)

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、今までにこの事件で通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

#### 第4 非行事実の告知

##### 1 窃盗罪（万引）の例

「君は、平成○年5月10日午後1時23分頃、東京都○○区○○町1丁目5番12号所在の株式会社○○店において、同店の店長であるAが管理していた万年筆5本（販売価格合計5万円）を盗んだものです。」

##### 2 窃盗罪（バイク盗）の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、Aが所有する第一種原動機付自転車1台（時価約15万円相当）を盗んだものです。」

##### 3 遺失物等横領罪の例

「君は、平成○年7月21日午後9時30分頃、東京都○○区○○町5丁目3番4号所在の○○自転車置場において、その場所に放置されていたAが所有する自転車1台（時価約6000円相当）を発見し、これを自分の物にするつもりで拾得して横領したものです。」

##### 4 傷害罪の例

「君は、平成○年1月15日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目6番15号先路上において、Aが君の身体にぶつかったことから口喧嘩し、腹を立てて、持っていた長さ約50センチメートルの木棒でAの頭部を5、6回

(за исключением тех случаев, когда информирование осуществляется на основе двусторонних соглашений)

Если ты хочешь, согласно положениям Венской конвенции о дипломатических сношениях, мы можем сообщить о тебе в посольство твоей страны в Японии.

Однако, это возможно только в том случае, если об этом деле еще не было сообщено в посольство.

Ты хочешь, чтобы сообщили в посольство?

Ты можешь написать и отправить письмо в посольство твоей страны, только содержание его не должно нарушать законы Японии.

Часть 4. Уведомление о факте акта делинквентного поведения (проступка, преступления)

1. Кража (мелкое воровство в магазине)

«10 мая \*\*\*\* года, примерно в 22 часа 23 минуты, в магазине акционерной компании ○○, по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 1-5-12, ты украл 5 перьевых ручек, за которые отвечает директор названного магазина «А» (цена реализации 50 000 иен)».

2. Кража (мопеда)

«12 октября \*\*\*\* года, примерно в 15 часов 35 минут, у дома, расположенного по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 2-3-5, ты украл мопед 1 категории, принадлежащий «А» (один мопед фактической стоимостью приблизительно 150 000 иен)».

3. Пример незаконного присвоения утерянного и забытого имущества

«21 июля \*\*\*\* года, примерно в 21 час 30 минут, на велосипедной парковке \*\*\*, расположенной по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 5-3-4, тобой был замечен оставленный там велосипед, принадлежащий «А» (один велосипед фактической стоимостью порядка 6000 иен), который ты подобрал и воспользовался им, решив присвоить его себе».

4. Нанесение телесных повреждений

«15 января \*\*\*\* года, примерно в 22 часа 30 минут, около дома, расположенного по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 1-6-15, с тобой столкнулся «А», после чего вы вступили в устную перепалку. Ты разозлился и 50-сантиметровой палкой, которая была у тебя с собой, нанес ему 5-6 сильных ударов по голове, в результате чего

強く叩き、それによって、Aに対し、加療約3週間を要する前頭部裂傷の傷害を負わせたものです。」

#### 5 強盗罪の例

「君は、生活費に困り、通行人からお金を奪い取ろうと考えて、平成○年6月13日午後10時30分頃、東京都○○区○○町3丁目1番12号先路上において、通りかかったA（当時18歳）を近くの路地に連れていき、Aに対し、持っていた登山ナイフを突きつけながら「金出せ。金出せ。」と言って脅迫し、Aが反抗できない状態にした上、Aの所有していた現金3万円を差し出させて奪い取ったものです。」

#### 6 殺人罪の例（その1）

「君は、平成○年7月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町3丁目10番5号所在の平和住宅1号室において、君の長男A（当時生後1か月）の養育に疲れ、将来を悲観して、Aを殺そうと決意し、持っていたタオルでAの頸部を絞めつけるなどし、そのことによりAを窒息死させて殺害したものです。」

#### 7 殺人罪の例（その2）

「君は、平成○年1月31日午後10時30分頃、東京都○○区○○町6丁目3番4号先路上において、A（当時19歳）から身体が触れたことで因縁をつけられ、突然腹部などを数回足蹴りするなどの暴行を加えられたことにかつとなり、とっさに、殺意をもって、持っていたナイフ（刃体の長さ約15センチメートル）で、Aの右胸部を数回突き刺し、右胸部に刺し傷を負わせ、間もなく、その場所において、その刺し傷による出血多量によりAを死亡させて殺害したものです。」

#### 8 覚せい剤取締法違反罪の例

「君は、法定の除外事由がないのに、平成○年10月21日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目2番8号所在の平和住宅2号室において、フェニルメチルアミノプロパンの塩類若干量を含有する水溶液を、自分の身体に注

нанес ему телесные повреждения в виде рваных ран в передней части черепа, требующих около 3 недель лечения».

5. Пример ограбления

«Испытывая затруднения в средствах к существованию, ты решил напасть на прохожего и отнять у него деньги. Для этого, 13 июня \*\*\*\* года, примерно в 22 часа 30 минут, в районе дома, расположенного по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 3-1-12, ты завел проходившего мимо прохожего «А» (на тот момент 18 лет) в находящийся поблизости узкий проулок, и, угрожая ему ножом для альпинистов, потребовал у него деньги со словами: «カネダセ。カネダセ». Приставив к нему нож и лишив его способности сопротивляться, ты заставил его вытащить имевшиеся у него 30 000 иен и отнял их».

6. Пример убийства (1)

«12 июля \*\*\*\* года, примерно в 22 часа 30 минут, в квартире №1 дома «ХЭЙВА ДЗЮТАКУ», расположенного по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 3-10-5, устав от ухода за своим сыном «А» (возраст на тот момент 1 месяц) и разуверившись в будущем, ты приняла решение убить «А». Для этого ты взяла полотенце, которое у тебя было, и начала душить им «А», в результате чего «А» скончался от удушения».

7. Пример убийства (2)

«31 января \*\*\*\* года, примерно в 22 часа 30 минут, около дома, расположенного по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 6-3-4, «А» (возраст 19 лет на тот момент) неожиданно полез с тобой в драку из-за того, что ты с ним соприкоснулся. Несколько раз он пнул тебя ногами в область живота, из-за чего ты разозлился, вдруг почувствовал желание убить его, моментально выхватил нож, который был у тебя с собой (длина лезвия примерно 15 см), несколько раз ударил ножом в грудь «А» с правой стороны, нанеся тем самым «А» колотые ранения с правой стороны груди. Таким образом, ты совершил убийство «А», так как через некоторое время «А» скончался на месте от большой потери крови».

8. Пример преступления, нарушающего Закон о контроле стимулирующих наркотических веществ

«Использование стимулирующих наркотических веществ посредством внутривенного введения. 21 октября \*\*\*\* года, примерно в 22 часа 30 минут, в квартире №2 жилого дома «ХЭЙВА ДЗЮТАКУ», расположенного по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 1-2-8, ты ввел себе внутривенно раствор, содержащий некоторое



射し、覚せい剤を使用したものです。」

#### 9 毒物及び劇物取締法違反罪の例

「君は、平成○年5月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、興奮、幻覚又は麻酔の作用を有する劇物で、政令で定められたトルエンを、みだりに吸入したものです。」

#### 10 過失運転致傷罪の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町3丁目7番8号先路上において、普通乗用自動車を運転して○○区○○町方面から○○区○○町方面に向かい、時速約80キロメートルの速度で進行中、その場所の手前は左方にカーブして前方の見通しが困難であったので、あらかじめ減速し安全に走行できるようにハンドル、ブレーキなどを的確に操作して進行すべき運転者としての注意義務があったのに、これを怠り、先程の速度のまま的確なハンドル操作をせずに進行した過失により、自分の自動車を対向車線に進入させ、対向して進行してきたA（当時21歳）運転の普通乗用自動車の前部に自分の自動車の右前部を衝突させ、Aに全治約2か月間を要する右大腿骨骨折などの傷害を負わせたものです。」

#### 11 道路交通法違反（無免許運転）の例

「君は、公安委員会の運転免許を受けないで、平成○年10月5日午後10時30分頃、東京都○○区○○町5丁目9番5号○○町交差点付近路上において、自動二輪車を運転したものです。」

#### 12 道路交通法違反（速度違反）の例

「君は、平成○年2月13日午後10時30分頃、公安委員会が道路標識によって最高速度を時速40キロメートルと定めた東京都○○区○○町2丁目5番7号付近道路において、その最高速度を超える時速80キロメートルで普通乗用自動車を運転したものです。」

#### 13 売春防止法違反の例

количество солей фенил-метил-аминопропана».

9. Пример нарушения Закона о контроле ядовитых и агрессивных веществ  
«12 мая \*\*\*\* года, примерно в 22 часа 30 минут, около дома, расположенного по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 2-3-5, ты без разрешения вдыхал толуол, который в соответствии с постановлением правительства относится к агрессивным веществам, обладающим возбуждающим, галлюцинирующим или анестезирующим действием».
10. Пример ДТП с нанесением телесных повреждений по небрежности  
«12 октября \*\*\*\* года в 15 часов 35 минут, в районе дома, расположенного по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 3-7-8, ты следовал на легковом автомобиле в направлении от \*\*\*-ку\*\*\*-тё к \*\*\*-ку\*\*\*-тё со скоростью приблизительно 80 км/час. В этом месте дорога делает крутой поворот вправо, что делает видимость крайне ограниченной, поэтому ты, как любой водитель, обязан был соблюдать осторожность, заранее снизив скорость и осуществляя надлежащее управление рулем и тормозами, чтобы безопасно проехать это место. Однако ты проигнорировал это обязательство, и по неосторожности, вызванной проездом этого участка на указанной скорости и без надлежащего управления рулем, выехал на своей машине на встречную полосу, столкнулся со следовавшим по встречной полосе легковым автомобилем, которым управлял «А» (21 год на тот момент), ударив переднюю правую часть своего автомобиля в переднюю часть автомобиля «А», в результате чего «А» получил травму в виде перелома левой бедренной кости, для полного излечения которой требуется порядка двух месяцев».
11. Нарушение Закона о дорожном движении (вождение без водительских прав)  
«Несмотря на, что у тебя не имеется прав на вождение автомобиля, выдаваемых Комиссией общественной безопасности, 5 октября \*\*\*\* года, примерно в 22 часа 30 минут, в районе перекрестка \*\*\*, расположенного по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 5-9-5, ты управлял двухколесным автотранспортным средством».
12. Пример нарушения Закона о дорожном движении (превышение установленной скорости)  
«13 февраля \*\*\*\* года, примерно в 22 часа 30 минут, на автомобильной дороге в районе дома, расположенного по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 2-5-7, где в соответствии со знаками дорожной разметки, установленными Комиссией по общественной безопасности, максимальная скорость установлена на отметке 40 км/час, ты управлял легковым автомобилем со скоростью 80 км/час, что превышает установленную скорость».
13. Пример нарушения Закона о предотвращении проституции

「君は、売春をする目的で、平成○年3月10日午後6時35分頃、東京都○○区○○町1丁目1番18号付近路上において、その場所を通行中のAに対し、「遊びませんか社長。ホテルいい3万円。」などと言って誘い、公衆の目に触れるような方法で人を売春の相手方となるよう勧誘したものです。」

#### 14 出入国管理及び難民認定法違反の例

「君は、○○国国籍を有する外国人で、平成○年6月12日、○○国の政府が発行した旅券を持って、千葉県成田市にある新東京国際空港に上陸して日本の国に入ったものですが、在留期限は同年6月27日までであったのに、その日までに日本の国から出国せず、平成○年6月9日まで、東京都○○区○○町3丁目5番12号に住み、在留期間を経過して不法に日本の国に残留したものです。」

#### 15 ぐ犯の例

「君は、○○国の養父母のもとで育ち、平成○年4月20日頃、出稼ぎのために来日し、その年の5月1日頃からストリップ劇場でダンサーとして働くようになりました。その後、同じような劇場数か所を転々とし、現在は、東京都○○区○○町2丁目3番8号所在の、暴力団○○組幹部で覚せい剤取締法違反の前科、前歴を有するA方のアパートに泊まり、A及びその仲間と共に無為徒食の生活を送っていました。そして、この間、君は、数十名の劇場の客や複数の暴力団組員と性的関係を持って小遣いをもらうなど、いかがわしい場所に入りするとともに、犯罪性のある人と交際しています。君の性格、環境に照らし、将来、売春防止法違反あるいは覚せい剤取締法違反の罪を犯すおそれがあるというのが事件の内容です。」

### 第5 決定などの告知及びその説明

#### 1 保護観察決定などの告知及びその説明

##### (1) 保護観察決定の告知及びその説明

«10 марта \*\*\*\* года, примерно в 18 часов 35 минут, в районе дома, расположенного по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 1-1-18, с целью проституции ты обратилась к проходящему мимо «А» со словами «アソビマセンカシャチョウ。ホテルイイ3マンエン» и т.д., на виду у окружающих склоняя его к тому, чтобы стать твоим партнером в занятии проституцией».

14. Пример нарушения Закона о регулировании иммиграции и признании статуса беженцев

«Будучи гражданином (гражданкой) государства ○○, 12 июня \*\*\*\* года ты приземлился (приземлилась) в Новом Международном Аэропорту Токио, расположенном в городе Нарита префектуры Тиба, и пересек(ла) границу Японии, имея при себе заграничный паспорт, выданный органами власти государства ○○. Однако, несмотря на то, что период пребывания в Японии заканчивался 27 июня того же года, ты не выехал(а) из Японии до указанной даты, а продолжал(а) оставаться в Японии нелегально до 9 июня \*\*\* года, проживая по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 3-5-12, несмотря на то, что разрешенный период пребывания уже истек».

15. Предел инквентности

«Будучи воспитанной приемными родителями в государстве ○○, примерно 20 апреля \*\*\*\* года ты приехала в Японию с целью зарабатывания денег и примерно с 1 мая этого же года ты начала работать в клубе стриптиза в качестве танцовщицы. Затем ты неоднократно переходила из одного похожего клуба в другой, и в настоящее время, проживая на квартире, расположенной по адресу Токио, \*\*\*-ку, \*\*\*-тё, 2-3-8, у человека по имени «А», который является одним из главарей преступной группировки ○○, и имеет прежнюю судимость за нарушение Закона о контроле стимулирующих наркотических препаратов, ты ведешь бесполезный образ жизни, ничего не делая, вместе с «А» и его товарищами. Кроме того, ты бывала в непристойных местах, где ты вступала в половые отношения с несколькими десятками клиентов клуба и членов преступных группировок и получала от них деньги на карманные расходы, а также общалась с людьми из криминальной среды. Таким образом, принимая во внимание твой характер и образ жизни, который ты ведешь, существует риск того, что в будущем ты можешь нарушить Закон о предотвращении проституции и Закон о контроле наркотических стимулирующих веществ».

Часть 5. Уведомление и пояснения, касающиеся решения по делу

1. Уведомление и пояснения, касающиеся решения о постановке на учет для пробационного контроля

(1) Уведомление и пояснения, касающиеся решения о постановке на учет для пробационного контроля

君を〇〇保護観察所の保護観察に付します。

保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官や保護司の指導を受けることとなります。

(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明

君を交通保護観察に付します。ただし、保護観察所に対しては、短い期間で処遇が終わるようという勧告を付けておくこととします。

交通保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官による指導を受けるほか、交通に関する講習を受けることとなります。

2 児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明

君を児童自立支援施設（児童養護施設）に送致します。

君は児童自立支援施設（児童養護施設）に入所し、施設の職員から生活指導などを受けることとなります。

3 少年院送致決定などの告知及びその説明

(1) 少年院送致決定の告知及びその説明

君を第〇種少年院に送致します。

君は、少年院に収容され、生活指導などの矯正教育を受けることとなります。

(2) 処遇勧告の告知及びその説明

ア 短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

イ 特別短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、特に短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

また、できる限り日課の一部を君に計画させ、実施させることなど開放的な教育を受けることができるよう求める勧告も付けておくこととします。

4 不処分決定の告知

Тебя решено поставить на учет в службу пробации для нахождения под пробационным контролем.

Находясь под пробационным контролем, ты будешь продолжать вести образ жизни без изоляции от общества под опекой инспекторов и добровольных работников Службы пробации.

- (2) Уведомление и пояснения, касающиеся решения о постановке на учет для пробационного контроля для нарушителей правил дорожного движения

Тебя решено поставить на учет в службу пробации для осуществления пробационного контроля для нарушителей правил дорожного движения. Однако Службе пробации будет дано указание о том, чтобы завершить пробационный контроль за короткий срок.

Находясь под пробационным контролем для нарушителей правил дорожного движения, ты будешь продолжать вести образ жизни без изоляции от общества под опекой инспекторов Службы пробации, а также должен будешь посещать занятия по правилам дорожного движения.

2. Уведомление и пояснения, касающиеся решения о направлении в Учреждение для содействия развитию способностей для самостоятельной жизни или в Детский дом  
Тебя решено отправить в Учреждение для содействия развитию способностей для самостоятельной жизни (Детский дом).

Ты будешь находиться в Учреждении для содействия развитию способностей для самостоятельной жизни (детском доме) под опекой работников учреждения.

3. Уведомление и пояснения, касающиеся решения о направлении в Школу производственной подготовки

- (1) Уведомление и пояснения, касающиеся решения о направлении в Школу производственной подготовки

Тебя решено отправить в Школу производственной подготовки о категории.

Ты будешь находиться в Школе производственной подготовки и проходить там исправительное обучение, включая руководство, касающиеся образа жизни, и т.д.

- (2) Уведомление и пояснения, касающиеся рекомендации о продолжительности воздействия

- i. Разъяснение, касающееся воздействия в течение короткого периода (краткосрочная программа)

Школа производственной подготовки будет извещена о том, что наиболее адекватной мерой для тебя будет завершить исправительное воздействие за короткий срок.

- ii. Разъяснение, касающееся воздействия в течение очень короткого периода

Школа производственной подготовки будет извещена о том, что наиболее адекватной мерой для тебя будет завершить исправительное воздействие за очень короткий срок.

Кроме того, Школе производственной подготовки будет также дана рекомендация, требующая создания тебе открытого режима получения образования, включая самостоятельное составление и выполнение плана своих ежедневных занятий (распорядка дня) в определенной степени.

4. Уведомление о том, чтобы отпустить несовершеннолетнего после слушаний

君を保護処分につさないことにします。

5 知事又は児童相談所長への送致決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長（〇〇知事）に送致します。

6 検察官送致決定の告知

君の事件を〇〇地方検察庁の検察官に送致します。

7 強制的措置許可決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長に送致します。

児童相談所長が、君に対し、平成〇年〇月〇日から、〇年間に、通算〇〇日を限度として、君の自由を制限する強制的な措置をとることを許可することとします。

8 強制的措置不許可決定の告知

児童相談所長が君に対して君の自由を制限するような強制的な措置をとることは、許可しないこととしました。

9 試験観察決定などの告知及びその説明

君を家庭裁判所調査官〇〇の観察に付します。

試験観察は、君に対する最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を〇〇に預けて補導してもらいながら（家に帰って普通の社会生活をしながら）、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

君に対し、試験観察中に守るべき事柄として、①・・・、②・・・を指示します。

10 没取決定の告知

押収してある〇〇を没取します。

11 訴訟費用負担決定の告知

家庭裁判所に送致される前の国選弁護費用として要した訴訟費用〇〇万円は君に負担させることにします。

- По отношению к тебе решено не принимать каких-либо мер.
5. Уведомление о решении передачи дела губернатору или Директору Консультационного Центра по делам несовершеннолетним  
Твое дело решено передать Директору Консультационного Центра по делам несовершеннолетних ○○ (губернатору ○○).
  6. Уведомление о решении передачи дела прокурору  
Твое дело будет передано прокурору местной прокуратуры ○○.
  7. Уведомление о разрешении принятия принудительных мер  
Суд принял решение о передаче твоего дела Директору Консультационного Центра по делам несовершеннолетним. Директору Консультационного Центра по делам несовершеннолетним будет дано одобрение о принятии по отношению к тебе принудительных мер с ограничением твоей свободы на срок \*\*\* лет, начиная с «\_\_» \_\_\_\_\_ года продолжительностью, не превышающей, в общей сложности, \_\_\_\_\_ дней.
  8. Уведомление о запрете принятия принудительных мер  
Суд постановил не давать Директору Консультационного Центра по делам несовершеннолетним одобрения на принятие по отношению к тебе каких-либо принудительных мер с ограничением твоей свободы.
  9. Уведомление и разъяснения, касающиеся решения о временной пробации  
На время испытательного срока за тобой будет наблюдать Инспектор Семейного суда.  
Временная пробация (пробационный контроль на время испытательного срока) означает, что на протяжении определенного срока ты будешь находиться под наблюдением г-на \_\_\_\_\_ до того, как в отношении тебя будет принято окончательное решение (в течение этого периода ты будешь вести обычный образ жизни без изоляции от общества). Суд рассмотрит твое поведение и образ жизни на протяжении испытательного срока, а затем проведет еще раз слушание по твоему делу с целью вынесения окончательного решения.  
В качестве правил, которые ты обязан будешь соблюдать во время нахождения под пробационным контролем, суд указывает следующие правила:  
① . . . ,  
② . . . .
  10. Уведомление о конфискации имущества  
Суд постановил конфисковать изъятое у тебя \_\_\_\_\_.
  11. Уведомление о решении о возложении судебных расходов  
Суд постановил, что ты должен будешь оплатить судебные расходы в сумме \_\_\_\_\_ иен, которые потребовались для оплаты назначенного судом адвоката до того, как твое дело было прислано в Семейный суд.



12 戻し収容決定の告知

君を第○種少年院に戻して収容します。

13 収容継続決定の告知

君を平成○年○月○日まで第○種少年院に継続して収容します。

14 保護処分取消決定の告知

君に対する保護観察（児童自立支援施設送致，児童養護施設送致，少年院送致）  
決定を取り消します。

15 施設送致決定の告知

〔前記 2（児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明）  
及び 3（少年院送致決定などの告知及びその説明） 参照〕

12. Уведомление о решении о возвращении обратно в учреждение  
Суд постановил отправить тебя обратно в Школу производственной подготовки категории ○.
13. Уведомление о решении о продолжении нахождения в учреждении  
Суд постановил, что ты будешь продолжать оставаться в школе производственной подготовки категории \*\*\* до «\_\_\_» \_\_\_\_\_ года.
14. Уведомление об аннулировании решения о принятии мер по защите  
Суд постановил аннулировать решение о пробационном контроле (направлении в учреждение для содействия в развитии способностей к самостоятельной жизни, в детский дом, в школу производственной подготовки).
15. Уведомление о направлении в специальное учреждение  
(см. приведенные выше п.2 «Уведомление и пояснения, касающиеся решения о направлении в Учреждение для содействия развитию способностей для самостоятельной жизни или в Детский дом» и п.3 «Уведомление и пояснения, касающиеся решения о направлении в Школу производственной подготовки»).

## 第6 書式例

### 書式1 少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）

#### 少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について（ ）少年鑑別所へ送致されることになりました。少年に対しては、以後、原則として、次の手続で処分が決められます。
  - (1) 観護措置  
少年鑑別所では、少年の身柄を確保し、併せて、少年の心身の鑑別を行います。ここでの収容期間は、通常、最大限4週間です。なお、場合によっては、最大限8週間まで更新されることがあります。
  - (2) 調査  
(1)の鑑別と並行して、家庭裁判所調査官が少年に関する調査を行います。この調査の目的は、非行の原因、少年の性格や行動のみならず、家庭、学校、職場、友人関係などの環境等について調査し、少年に対して最も有効適切な処分は何かを明らかにすることです。
  - (3) 審判  
(2)の調査が終わると、審判を開きます。審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。  
審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めるときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
  - (1) 保護観察  
通常の社会生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
  - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致  
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
  - (3) 少年院送致  
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
  - (4) 検察官送致  
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
  - (5) 不処分  
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
  - (6) 試験観察  
(1)から(5)までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて指導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
  - (1) 付添人選任権  
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
  - (2) 黙秘権  
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
  - (3) 不服申立書  
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

## Часть 6. Примеры форм.

Форма 1. Информация для несовершеннолетнего и лица, на попечении которого находится несовершеннолетний (по делам, связанным с задержанием несовершеннолетнего)

### Информация для несовершеннолетнего и лица, на попечении которого находится несовершеннолетний

1. По делу \_\_\_\_\_ в отношении несовершеннолетнего принято решение о передаче несовершеннолетнего в Центр классификации несовершеннолетних \_\_\_\_\_. Как правило, решение по делу в отношении несовершеннолетнего будет приниматься в ходе процедур, описанных ниже.
  - (1) Меры помещения несовершеннолетнего под защиту  
Несовершеннолетний будет содержаться в Центре классификации несовершеннолетних, где будет проводиться классификация несовершеннолетнего на основе физического и психологического обследования. Максимальный срок содержания несовершеннолетнего в Центре классификации несовершеннолетних составляет, как правило, 4 недели. Однако, встречаются случаи, когда этот срок может быть продлен до 8 недель.
  - (2) Изучение  
Одновременно с обследованиями и классификацией, указанными в предыдущем параграфе (1), Инспектор Семейного Суда будет проводить изучение, касающееся личности несовершеннолетнего. Цель этого изучения заключается не только в выяснении причин делинквентности, изучении личности несовершеннолетнего и его образа жизни, но также и в изучении социальной среды, в которой находился несовершеннолетний, включая его семью, место учебы, место работы, отношения с друзьями и т.д. Такое изучение предназначено для того, чтобы определить, какое решение по делу будет наиболее эффективным и адекватным для несовершеннолетнего.
  - (3) Слушание на предмет вынесения судебного решения  
После того, как завершится изучение, описанное в предыдущем параграфе (2), будет проведено слушание на предмет вынесения судебного решения по делу несовершеннолетнего. Слушание на предмет вынесения решения является одним из видов судебного производства и проводится при закрытых дверях. На слушании будут присутствовать несовершеннолетний, лицо, на попечении которого он находится, (а также сопровождающее лицо, если таковое назначается). (В некоторых случаях на слушании может также присутствовать школьный учитель, волонтер службы пробации, прокурор и т.д.)  
На слушаниях будет рассматриваться вопрос о том, присутствует ли факт совершения несовершеннолетним акта делинквентного поведения или нет, а также существуют ли какие-либо проблемы, связанные с личностью несовершеннолетнего или обстановкой, которая его окружает, а затем, с учетом результатов изучения, проведенного Инспектором Семейного Суда, судья примет судебное решение по делу несовершеннолетнего. Если вопросы, заданные судьей, будут противоречить фактам или же содержать какие-либо факты, с которыми несовершеннолетний не согласен, несовершеннолетнему настоятельно рекомендуется высказать свое мнение. Несовершеннолетний может также обратиться к судье с просьбой допросить того или иного свидетеля или рассмотреть то или иное вещественное доказательство (если суд признает необходимость этого, будет проведен допрос указанного свидетеля или рассмотрение указанного доказательства).
2. Ниже приводятся основные судебные решения по делу, которые могут быть приняты Семейным судом.
  - (1) Пробационный контроль  
Пробационный контроль предназначается для реабилитации и исправления несовершеннолетнего. Несовершеннолетний, поставленный на учет службы пробации, будет продолжать вести обычную жизнь без изоляции от общества, однако он будет находиться под надзором Инспектора службы пробации или Волонтера службы пробации, которые будут осуществлять социально-правовое руководство и вести надзор за несовершеннолетним.
  - (2) Помещение несовершеннолетнего в учреждение для несовершеннолетних по содействию в развитии способностей к самостоятельной жизни или в детский дом.  
Несовершеннолетний будет помещен в специальное учреждение, где он будет получать необходимое воспитание, образование и уход.
  - (3) Помещение в школу производственной подготовки  
Несовершеннолетний будет помещен в школу производственной подготовки, где будет проводиться исправительное обучение несовершеннолетнего.
  - (4) Передача дела в прокуратуру  
Передача дела в прокуратуру означает, что дело будет передано прокурору с целью рассмотрения этого дела в суде по уголовным делам в соответствии с процедурами, применяемыми для совершеннолетних.
  - (5) Прекращение производства по делу после рассмотрения  
Такое решение принимается в том случае, если несовершеннолетний непричастен к совершению акта делинквентного поведения, или если акт делинквентного поведения настолько незначителен, что не требует принятия каких-либо мер.
  - (6) Временная пробация  
Временная пробация предназначается для того, чтобы наблюдать за поведением и успеваемостью несовершеннолетнего на протяжении определенного периода времени до тех пор, пока по делу несовершеннолетнего не будет принято одно из решений, приведенных в параграфе выше под номерами от (1) до (5). Встречаются случаи, когда обязательства по руководству несовершеннолетним в этот период могут быть возложены на частных лиц и т.д. (поручение руководства несовершеннолетними и их опеки семьям на добровольной основе).
3. Несовершеннолетний и лицо, на попечении которого находится несовершеннолетний, имеют следующие права.
  - (1) Назначение сопровождающего лица  
Несовершеннолетний и лицо, на попечении которого он находится, имеют право назначить сопровождающее лицо. Сопровождающее лицо сотрудничает с Семейным судом во время судопроизводства. Это лицо, статус которого соответствует статусу адвоката защиты в уголовных делах. В качестве сопровождающего лица может назначаться не только адвокат, но и лицо, на попечении которого находится несовершеннолетний, или любое другое лицо, однако в этом случае необходимо будет получить разрешение Семейного суда.
  - (2) Право хранить молчание  
Несовершеннолетний имеет право не отвечать на вопросы судьи против своей воли. Однако следует помнить о том, что суд принимает надлежащее решение по делу с учетом показаний несовершеннолетнего, поэтому несовершеннолетнему рекомендуется точно излагать суду все, что он считает нужным.
  - (3) Апелляция  
В случае неудовлетворения решением суда с (1) по (3) п. 2, несовершеннолетний, его законный представитель или сопровождающее лицо имеют право в течение двух недель подать заявление на апелляцию (обжалование) в суд апелляционной инстанции.
4. По всем остальным вопросам обращайтесь к Судебному секретарю или к Инспектору Семейного Суда.

« \_\_\_\_\_ » \_\_\_\_\_ г.

Отделение Семейного Суда \_\_\_\_\_

## 書式2 少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）

### 少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について家庭裁判所で審判を受けることになりました。  
審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。  
裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のいかない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めたときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
  - (1) 保護観察  
通常の世界生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
  - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致  
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
  - (3) 少年院送致  
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
  - (4) 検察官送致  
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
  - (5) 不処分  
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
  - (6) 試験観察  
(1) から (5) までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて補導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
  - (1) 付添人選任権  
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
  - (2) 黙秘権  
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
  - (3) 不服申立書  
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

Форма 2. Информация для несовершеннолетнего и лица, на попечении которого находится несовершеннолетний (по делам, не связанным с задержанием несовершеннолетнего)

Информация для несовершеннолетнего и лица,  
на попечении которого находится несовершеннолетний

1. По делу \_\_\_\_\_ в отношении несовершеннолетнего, принято решение о передаче дела в суд с целью проведения слушания на предмет вынесения судебного решения.  
Слушание на предмет вынесения решения является одним из видов судебного производства и проводится при закрытых дверях. На слушании будут присутствовать несовершеннолетний, лицо, на попечении которого он находится, (а также сопровождающее лицо, если таковое назначается). (В некоторых случаях на слушании может также присутствовать школьный учитель, волонтер службы пробации, прокурор и т.д.). На слушании по делу будет рассматриваться вопрос о том, присутствует ли факт совершения несовершеннолетним акта делинквентного поведения или нет, а также существуют ли какие-либо проблемы, связанные с личностью несовершеннолетнего или обстановкой, которая его окружает, а затем, с учетом результатов изучения, проведенного Инспектором Семейного Суда, судья примет судебное решение по делу несовершеннолетнего. Если вопросы, заданные судьей, будут противоречить фактам или же содержать какие-либо факты, с которыми несовершеннолетний не согласен, несовершеннолетнему настоятельно рекомендуется высказать свое мнение. Несовершеннолетний может также обратиться к судье с просьбой допросить того или иного свидетеля или рассмотреть то или иное вещественное доказательство (если суд признает необходимость этого, будет проведен допрос указанного свидетеля или рассмотрение указанного доказательства).
2. Ниже приводятся основные судебные решения по делу, которые могут быть приняты Семейным судом.
  - (1) Пробационный контроль  
Пробационный контроль предназначается для реабилитации и исправления несовершеннолетнего. Несовершеннолетний, поставленный на учет службы пробации, будет продолжать вести обычную жизнь без изоляции от общества, однако он будет находиться под надзором Инспектора службы пробации или Волонтера службы пробации, которые будут оказывать социально-правовое руководство и вести надзор за несовершеннолетним.
  - (2) Помещение несовершеннолетнего в учреждение для несовершеннолетних по содействию в развитии способностей к самостоятельной жизни или в детский дом.  
Несовершеннолетний будет помещен в специальное учреждение, где он будет получать необходимое воспитание, образование и уход.
  - (3) Помещение в школу производственной подготовки  
Несовершеннолетний будет помещен в школу производственной подготовки, где будет проводиться исправительное обучение несовершеннолетнего.
  - (4) Передача дела в прокуратуру  
Передача дела в прокуратуру означает, что дело будет передано прокурору с целью рассмотрения этого дела суде по уголовным делам в соответствии с процедурами, применяемыми для совершеннолетних.
  - (5) Прекращение производства по делу после рассмотрения  
Такое решение принимается в том случае, если несовершеннолетний непричастен к совершению акта делинквентного поведения, или если акт делинквентного поведения настолько незначителен, что не требует принятия каких-либо мер.
  - (6) Временная пробация  
Временная пробация предназначается для того, чтобы наблюдать за поведением и успеваемостью несовершеннолетнего на протяжении определенного периода времени до тех пор, пока по делу несовершеннолетнего не будет принято одно из решений, приведенных в параграфе выше под номерами от (1) до (5). Встречаются случаи, когда обязательства по руководству несовершеннолетним в этот период могут быть возложены на частных лиц и т.д. (поручение руководства несовершеннолетними и их опеки семьям на добровольной основе).
3. Несовершеннолетний и лицо, на попечении которого находится несовершеннолетний, имеют следующие права.
  - (1) Назначение сопровождающего лица  
Несовершеннолетний и лицо, на попечении которого он находится, имеют право назначить сопровождающее лицо. Сопровождающее лицо сотрудничает с Семейным судом во время судопроизводства. Это лицо, статус которого соответствует статусу адвоката защиты в уголовных делах. В качестве сопровождающего лица может назначаться не только адвокат, но и лицо, на попечении которого находится несовершеннолетний, или любое другое лицо, однако в этом случае необходимо будет получить разрешение Семейного суда.
  - (2) Право хранить молчание  
Несовершеннолетний имеет право не отвечать на вопросы судьи против своей воли. Однако следует помнить о том, что суд принимает надлежащее решение по делу с учетом показаний несовершеннолетнего, поэтому несовершеннолетнему рекомендуется точно излагать суду все, что он считает нужным.
  - (3) Апелляция  
В случае неудовлетворения решением суда с (1) по (3) п. 2, несовершеннолетний, его законный представитель или сопровождающее лицо имеют право в течение двух недель подать заявление на апелляцию (обжалование) в суд апелляционной инстанции.
4. По всем остальным вопросам обращайтесь с Судебному секретарю или к Инспектору Семейного Суда, ответственным за Ваше дело.

«\_\_\_\_\_» \_\_\_\_\_ г.

Отделение Семейного Суда \_\_\_\_\_

書式 3 審判期日通知書

平成 年 第 少年 第 号	保護事件
(備考)	
<h2 style="margin: 0;">審判期日通知書</h2>	
少年 殿	
保護者 殿	
<p>上記少年に対する保護事件の審判が開かれることになりましたから、少年と保護者の方は一緒にこの書面を持って、</p>	
平成 年 月 日	午前 時 分 午後
<p>に当裁判所に出頭してください。</p>	
<p>(注意) この期日に出頭できないときは、その理由を詳しく書いた書面を必ず下記裁判所書記官あて至急送ってください。</p>	
平成 年 月 日	
家庭裁判所	
裁判所書記官	
家庭裁判所	電話 ( ) (代表) 内線 番

Форма 3. Уведомление о дате слушания

20 \_\_\_\_\_ г. №. \_\_\_\_\_ Дело о несовершеннолетнем: \_\_\_\_\_

**УВЕДОМЛЕНИЕ О ДАТЕ СЛУШАНИЯ**

Несовершеннолетний: \_\_\_\_\_

Опекающее лицо: \_\_\_\_\_

Настоящим уведомляем Вас о том, что принято решение о проведении слушания по делу о несовершеннолетнем, указанному выше. Несовершеннолетнему и лицу, на попечении которого находится несовершеннолетний, следует явиться в суд « \_\_\_\_ » \_\_\_\_\_ года в \_\_\_\_ час. \_\_\_\_ мин. Необходимо иметь при себе данное уведомление.

Примечание: в случае невозможности явиться в суд в назначенную дату по уважительной причине, необходимо в неотложном и обязательном порядке направить судебному секретарю, указанному ниже, объяснительную с разъяснением причины неявки.

« \_\_\_\_ » \_\_\_\_\_ г.

\_\_\_\_\_ Семейный Суд

Судебный секретарь: \_\_\_\_\_

(Примечания)

\_\_\_\_\_ Семейный Суд

Телефон:

Добавочный номер:



書式 4 呼出状

平成 年 少年第 号

呼 出 状

少年 殿

保護者 殿

少年

年 月 日生

住居

上記少年に対する保護事件の審判を、きたる 月 日 午前 時行います  
ので に出頭して下さい。

なお、正当な理由がないのにこの呼出しに応じないと同行状を発することがあります。

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判官

- 注意 1 当日は認印を持参し、この呼出状を当庁書記官室に差し出して下さい。  
2 病气その他で出頭できないときは、必ず電話、手紙などで当庁書記官室に連絡して下さい。

Форма 4. Судебная повестка

20 \_\_\_\_ г. № \_\_\_\_\_

**СУДЕБНАЯ ПОВЕСТКА**

Несовершеннолетний: \_\_\_\_\_

Опекающее лицо: \_\_\_\_\_

Фамилия, имя несовершеннолетнего:

Дата рождения:

Место жительства:

« \_\_\_\_ » \_\_\_\_\_ года в \_\_\_\_ час. \_\_\_\_ мин. будет проводиться слушание по делу о несовершеннолетнем, указанному выше. Вам необходимо явиться в \_\_\_\_\_.

Если Вы не явитесь в суд без уважительной причины, будет издан Ордер на привод в принудительном порядке.

« \_\_\_\_ » \_\_\_\_\_ г.

\_\_\_\_\_ Семейный Суд

Судья: \_\_\_\_\_

Примечание 1. При явке в суд необходимо иметь при себе настоящую повестку, а также свою личную печать. Повестку следует предъявить в Секретариат суда.

Примечание 2. В случае невозможности явиться в суд по болезни или по иной уважительной причине, необходимо в обязательном порядке сообщить об этом в Секретариат суда по телефону или в письменной форме с разъяснением причины неявки.

書式 5 呼出状 (調査)

<p>平成 年 少年 第 号 事件</p> <p style="text-align: center;"><u>呼 出 状</u></p> <p>少年 _____ 殿</p> <p>保護者 _____ 殿</p> <p>少年の保護事件について調査しますので、少年と保護者は、 月 日 ( 曜 ) 午前 時 分 この呼出状を持って、 _____ 午後 _____</p> <p>家庭裁判所 階 少年調査官室に出頭してください。</p> <p style="text-align: right;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: right;"><b>家庭裁判所</b></p> <p style="text-align: right;">家庭裁判所調査官</p>	<p>(備考)</p> <p>1 平成 年 月 _____ 警察署調べの件です。</p> <p>2 少年又は保護者が、病気、不在等でやむを得ず出頭できない場合は、その旨を担当調査官に連絡してください。</p> <p>3 当日、_____ を必ず持参してください。</p> <p style="text-align: right;">家庭裁判所 電 話 ( _____ ) (代表) 内 線 _____ 番</p>
---	--

Форма 5. Повестка (для расследования)

20 \_\_\_\_\_ г. №. \_\_\_\_\_ Дело о несовершеннолетнем: \_\_\_\_\_

**ПОВЕСТКА**  
**(ДЛЯ РАССЛЕДОВАНИЯ)**

Несовершеннолетний: \_\_\_\_\_

Опекающее лицо: \_\_\_\_\_

« \_\_\_\_\_ » \_\_\_\_\_ года в \_\_\_\_\_ час. \_\_\_\_\_ мин.  
будет проводиться расследование, касающееся дела о несовершеннолетнем,  
указанного выше. Несовершеннолетнему и лицу, на попечении которого  
находится несовершеннолетний, необходимо явиться в кабинет Инспектора  
Семейного Суда по делам несовершеннолетних на \_\_\_\_\_ этаж в здании  
Семейного Суда. При себе необходимо иметь эту повестку.

« \_\_\_\_\_ » \_\_\_\_\_ г.

\_\_\_\_\_ Семейный Суд

Инспектор Семейного Суда: \_\_\_\_\_

Примечания:

1. Это дело, по которому полиция проводила расследование  
« \_\_\_\_\_ » \_\_\_\_\_ 20\_\_ г.
2. Если несовершеннолетний или лицо, на попечении которого находится  
несовершеннолетний, не могут явиться на расследование по причине  
заболевания или по иной уважительной причине, необходимо поставить об  
этом в известность Инспектора Семейного Суда, ведущего дело.
3. При явке на расследование к Инспектору Семейного суда  
несовершеннолетний или лицо, под опекой которого он находится, должны  
иметь при себе \_\_\_\_\_.

Семейный суд \_\_\_\_\_

Тел. \_\_\_\_\_

Добавочный номер \_\_\_\_\_

書式 6 同行状（緊急）

平成 年 (少) 第 号	執行指揮印
<h2 style="margin: 0;">同行状（緊急）</h2>	
少年 _____ 年 _____ 月 _____ 日生	
住居 _____	
<p>上記少年の _____ 保護事件について、下記の理由により、少年を当裁判所へ同行する。</p> <p style="text-align: center;">有効期間 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 まで</p> <p style="text-align: center;">この令状は上記期間経過後はその執行に着手することができない。 この場合には本令状を裁判所へ返還しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p style="text-align: center;">家庭裁判所 裁 判 官</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>(審判に付すべき事由) _____ 別紙記載のとおり  (緊急同行状を発付する理由) _____ 別紙記載のとおり  (適条) _____ 少年法 12 条 1 項  (参考)</p> <p>1 予想される少年の立ち回り先 _____</p> <p>2 本同行状は、 _____ 警察署宛に発付</p>	
執行した日時	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分
執行した場所	_____
執行することができなかったときはその理由	_____ _____
所 属 ・ 官 職	氏名 _____ 印 _____
同行された日時 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分	
裁判所書記官	

## Форма 6. Ордер на привод (срочный)

20 ____ № _____		М.П.
<b>ОРДЕР НА ПРИВОД (СРОЧНЫЙ)</b>		
Несовершеннолетний: _____ Дата рождения: _____ Место жительства: _____		
Несовершеннолетнего _____ необходимо привести в Семейный Суд в связи с делом о несовершеннолетнем _____ по причине, изложенной ниже.		
Настоящий Ордер имеет юридическую силу до « ____ » _____ 20 г. Настоящий Ордер не может быть приведен в исполнение после вышеуказанной даты. В этом случае Ордер подлежит возврату в Семейный Суд.		
Дата: « ____ » _____ г.		
Отделение Семейного суда _____		
Судья _____		
Причина проведения слушаний: в соответствии с прилагаемым документом		
Причина выдачи Ордера на привод (срочного): в соответствии с прилагаемым документом		
Применимая статья: Статья 12 пар. 1 Закона о защите несовершеннолетних		
Для справки:		
1. Места, где предположительно может находиться несовершеннолетний: _____		
2. Настоящий Ордер должен быть направлен в Отделение Полиции _____.		
Дата и время приведения в исполнение	« ____ » _____ 20__ г. в ____ час. ____ мин.	
Место приведения в исполнение	_____	
Причина неисполнения	_____	
	_____	
Организация и занимаемая должность	Ф.И.:	М.П.
Дата и время, когда был осуществлен привод несовершеннолетнего:		
« ____ » _____ 20__ г. ____ час. ____ мин.		
Судебный секретарь: _____		

書式 7 観護措置通知書

平成 年 少年第 号 保 護 事 件

観護措置通知書

殿

少年

年 月 日生

上記少年に対する保護事件について、審判を行うための必要上、少年は、平成 年 月 日 少年鑑別所に収容されたから通知する。

平成 年 月 日

家 庭 裁 判 所

裁 判 所 書 記 官

Форма 7. Уведомление о мерах защиты

20\_\_\_\_\_ г. № \_\_\_\_\_ Дело о несовершеннолетнем: \_\_\_\_\_

**УВЕДОМЛЕНИЕ О МЕРАХ ПОМЕЩЕНИЯ**  
**ПОД ЗАЩИТУ**

Кому: \_\_\_\_\_

Ф.И. несовершеннолетнего: \_\_\_\_\_

Дата рождения: \_\_\_\_\_

Настоящим уведомляем Вас, что «\_\_» \_\_\_\_\_ г.  
несовершеннолетний \_\_\_\_\_ был  
помещен в Центр классификации  
несовершеннолетних в связи с необходимостью,  
обусловленной проведением слушания по  
вышеуказанному делу о несовершеннолетнем в  
Семейном Суде.

Дата: «\_\_\_\_\_» \_\_\_\_\_ г.

\_\_\_\_\_ Семейный Суд

Судебный секретарь: \_\_\_\_\_



平成

年(少)第

号

付 添 人 選 任 届

家庭裁判所 御中

少年

に対する

保護事件について

弁護士

を付添人に選任いたしましたから連署の上お

届けいたします。

平成 年 月 日

選任者(少年保護者)

付添人住所

付 添 人

(注) 選任者( )内は該当するものに○印をつける。

Форма 8. Уведомление о назначении Сопровождающего лица

20\_\_\_\_\_ г. №\_\_\_\_\_

**УВЕДОМЛЕНИЕ О НАЗНАЧЕНИИ**  
**СОПРОВОЖДАЮЩЕГО ЛИЦА**

В Семейный суд \_\_\_\_\_

Настоящим уведомляем Вас, что несовершеннолетнему  
\_\_\_\_\_, проходящему по делу о  
несовершеннолетнем \_\_\_\_\_, назначено  
сопровождающее лицо в лице адвоката \_\_\_\_\_, в  
подтверждение чего назначившее лицо и назначенное  
сопровождающее лицо скрепляют настоящее уведомление своими  
подписями. .

Дата: \_\_\_\_\_

Назначившее лицо \*: несовершеннолетний/  
лицо, под опекой которого находится несовершеннолетний

Ф.И. назначившего лица: \_\_\_\_\_

Адрес сопровождающего лица: \_\_\_\_\_

Ф.И. сопровождающего лица: \_\_\_\_\_

\*(Обведите правильное):

書式 9 付添人選任に関する通知及び照会

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する通知及び照会

少年 殿

保護事件名

あなたの事件では, 慎重に手続きを進めるため, 弁護士である付添人がいなければ審判できません。

あなたやあなたの家族が弁護士である付添人を選任しないときは, 裁判所が弁護士である付添人を選任します。

そこで, 同封した回答書に答えて書いて, 月 日までに 家庭裁判所に着くように送ってください。あなたが少年鑑別所にいるときは, 鑑別所の先生に渡してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所 (担当者 )

電話 内線 番

Форма 9. Форма уведомления и запроса о назначении  
сопровождающего лица

(Статья 22-3 пар. 1 Закона, Статья 30-3 пар. 1 Правил)

20\_\_\_\_\_ г. № \_\_\_\_\_

**УВЕДОМЛЕНИЕ И ЗАПРОС О НАЗНАЧЕНИИ**  
**СОПРОВОЖДАЮЩЕГО ЛИЦА**

Несовершеннолетнему \_\_\_\_\_

Дело № \_\_\_\_\_

В целях обеспечения тщательного и осмотрительного производства по Вашему делу, указанному выше, необходимо присутствие адвоката, который будет выступать в качестве Вашего сопровождающего лица, поэтому Вам необходимо назначить сопровождающее лицо в лице адвоката.

Если Вы или лицо, под опекой которого Вы находитесь, не назначаете адвоката в качестве сопровождающего лица, суд имеет право назначить адвоката в качестве такого сопровождающего лица.

Просим Вас заполнить приложенную форму и направить ее в \_\_\_\_\_ Семейный Суд не позднее «\_\_\_\_» \_\_\_\_\_ г. Если Вы находитесь в Центре классификации несовершеннолетних, просим Вас передать ее инспектору Центра.

«\_\_\_\_\_» \_\_\_\_\_ г.

Семейный суд: (Секретарь: \_\_\_\_\_ )

Телефон: (Добавочный номер: \_\_\_\_\_ )

書式 10 付添人選任に関する回答書

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する回答書

家庭裁判所 御中

保護事件について, 次のとおり回答します。

※ レ印を付けてください。

- 私か私の家族が弁護士である付添人をつけます  
付添人の名前は, ( 弁護士会) です。  
(分かれば書いてください。)
- 裁判所で弁護士である付添人をつけてください。

平成 年 月 日

少年 印

Форма 10. Форма ответа, касающаяся назначения  
сопровождающего лица

(Статья 22-3 пар. 1 Закона, Статья 30-3 пар. 1 Правил)

20 \_\_\_\_\_ г. № \_\_\_\_\_

**ОТВЕТ О НАЗНАЧЕНИИ**  
**СОПРОВОЖДАЮЩЕГО ЛИЦА**

В Семейный суд \_\_\_\_\_

Настоящим направляю мой ответ на вопрос, касающийся дела

\_\_\_\_\_ .

\*Отметить галочкой подходящий ответ.

Я или моя семья назначаем адвоката в качестве моего сопровождающего лица.

Фамилия и имя адвоката: \_\_\_\_\_ , адвокат  
состоит в ассоциации адвокатов \_\_\_\_\_ (укажите, в  
случае если Вам известно, в какой ассоциации адвокатов состоит Ваш  
адвокат).

Я предпочитаю, чтобы суд назначил мне адвоката в качестве моего сопровождающего лица.

« \_\_\_\_ » \_\_\_\_\_ г.

Ф.И. несовершеннолетнего:

М.П.

書式 11 決定通知書（審判不開始決定）

決 定 通 知 書

少 年 殿

(保護者) 殿

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判所書記官

少年に対する平成 年少第 号 保護事件について  
は、調査の結果、本日 裁判官の決定により少年法第 19 条 1 項を適用し、こ  
の事件については審判を開始しないで事件を終わらせることになりました。

この決定は、少年自身の自覚により再非行のないことを期待して行われたものですから再  
び過ちを犯さないよう心がけてください。

Форма 11. Уведомление о судебном решении (прекращение дела без слушания)

20 \_\_\_\_ г. № \_\_\_\_\_

## УВЕДОМЛЕНИЕ О СУДЕБНОМ РЕШЕНИИ

Несовершеннолетний: \_\_\_\_\_

Опекающее лицо: \_\_\_\_\_

Дата: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ Семейный суд

Судебный секретарь:

В результате рассмотрения дела о несовершеннолетнем \_\_\_\_\_ за №\_\_\_\_\_, которое состоялось «\_\_\_\_» \_\_\_\_\_ 20\_\_ года, по решению судьи \_\_\_\_\_ Семейный Суд вынес судебное решение о прекращении дела без слушания в соответствии со Статьей 19 пар. 1 Закона о защите несовершеннолетних.

Настоящее решение принято с надеждой на то, что несовершеннолетний извлечет правильные уроки из случившегося и впредь не будет совершать каких-либо незаконных поступков.



平成 年 少年 第 号

## 証人 召喚 状

証人 \_\_\_\_\_ 殿

少年

上記少年に対する 保護事件について、あなたを証人としてお尋ねしますから、来る 月 日 午前 時 分に当裁判所少年審判廷（階）に出頭してください。

平成 年 月 日

家 庭 裁 判 所

裁 判 官

- 注 1 出頭の際は、印鑑を持参し、この召喚状を差し出してください。出頭したときは、旅費、日当を請求することができます。
- 2 正当な理由がないのに出頭しないときは、勾引されたり、科料又は罰金、もしくは拘留に処せられたりすることがあります。

Форма 12. Повестка для свидетеля

20\_\_\_\_\_ г. № \_\_\_\_\_

**ПОВЕСТКА ДЛЯ СВИДЕТЕЛЯ**

Свидетель \_\_\_\_\_

Ф.И. несовершеннолетнего: \_\_\_\_\_

Просим Вас явиться на слушание по делу \_\_\_\_\_, касающемуся несовершеннолетнего, указанного выше, для дачи свидетельских показаний по указанному делу. Слушание состоится «\_\_»\_\_\_\_\_ 20\_\_ г. в Зале заседаний Семейного Суда на \_\_\_\_\_ этаже.

«\_\_»\_\_\_\_\_ г.

\_\_\_\_\_ Семейный Суд

Судья: \_\_\_\_\_

Примечание 1. При явке в суд просим Вас иметь при себе данную повестку и Вашу личную печать. Вы имеете право на возмещение транспортных расходов и на получение суточных.

Примечание 2. Если Вы не явитесь в суд без уважительной причины, суд может потребовать Вашего привода в принудительном порядке, кроме того, Вам может быть назначено наказание в виде штрафа или лишения свободы.

書式 13 証人等整理票

家庭裁判所		証人等整理票		平成	年	月	日
氏名	印	事件番号	平成	年少第	号		
年齢	年号を○で囲んでください。 昭和 年 月 日生 ( 年) 大正 明治	事件名					
職業		少年氏名					
住居		備考	該当するものを○で囲んでください。 証人 参考人 通訳人 鑑定人 その他 ( )				
旅費日当	いずれかを○で囲んでください。 請求する 請求しない						

(注) 1 出頭された方は、この整理票に記入の上、係事務官に提出してください。  
2 この整理票は、旅費日当請求書の資料あるいは旅費日当の放棄書として使用しますので、正確に記入してください。

### Форма 13. Карточка свидетеля

КАРТОЧКА СВИДЕТЕЛЯ			
		« ___ » _____ 20__ г.	
Ф.И.		М.П.	№ дела 20__ г. № _____
Возраст	Дата рождения	Название дела	
		Ф.И. несовершеннолетнего	
Профессия			
Место жительства		Особые отметки	Выберите соответствующую категорию:
Транспортные расходы и суточные	(Обведите один ответ)  Возместить. Не возмещать.		Свидетель Не приведённый к присяге свидетель Переводчик Эксперт-свидетель Прочее ( _____ )

Примечание 1. При явке в суд Вам необходимо будет заполнить эту карточку и вручить ее судебному делопроизводителю.

Примечание 2. Просим Вас точно и аккуратно заполнить карточку свидетеля, так как она будет использоваться в качестве основания для оплаты транспортных расходов и суточных или в качестве основания для отказа от прав на возмещение транспортных расходов и выплаты суточных.

## 宣 誓 書

良<sup>り</sup>心<sup>ょう</sup>に<sup>しん</sup>従<sup>したが</sup>って、ほんとうの<sup>もう</sup>ことを申<sup>もう</sup>します。

知<sup>し</sup>っていることをかくしたり、無<sup>な</sup>いことを

申<sup>もう</sup>したりなど、決<sup>けつ</sup>して致<sup>いた</sup>しません。

以<sup>い</sup>上<sup>じょう</sup>のとおり誓<sup>ちか</sup>います。

しやうにん

証 人

Форма 14. Клятва

## **КЛЯТВА**

Я клянусь говорить правду, ничего не утаивая и ничего не добавляя, как велит мне моя совесть.

Свидетель: \_\_\_\_\_

## 書式 15 通報の要請に関する照会

### 通報の要請に関する照会

あなたは、国民として領事関係に関  
するウィーン条約第 36 項第 1 項（b）の規定に基づき、拘禁された事実を  
の領事機関に通報することを要請することが  
できます。

要請するかどうかを回答書に記入してください。

なお、当該領事機関に対しては、我が国の法令に反しない限り、信書を発  
することができます。

裁 判 所

回 答

通報することを  要請します。  
 要請しません。

年                      月                      日

国                      名

被拘禁者氏名

裁判所

御中

(注) 不用の文字を抹消すること。

## Форма 15. Запрос об уведомлении консула

### **Запрос, касающийся уведомления Консула**

В соответствии с положениями Статьи 36 пар. 1 (b) Венской конвенции о консульских сношениях, как гражданин \_\_\_\_\_, Вы имеете право потребовать, чтобы судебные органы передали в консульское учреждение \_\_\_\_\_ информацию, касающуюся Вашего задержания.

Для выражения Ваших намерений касательно того, хотите ли Вы, чтобы судебные органы сообщили о Вас в консульское учреждение или нет, заполните, пожалуйста, следующую форму.

Вы можете направить письмо в соответствующее Консульство при условии, что оно не будет нарушать положений законов и нормативно-правовых актов Японии.

---

### **Ответ**

Изъявляете ли Вы желание, чтобы суд направил уведомление Консулу? (Зачеркните ответ, который Вы не выбираете).

- (a) Да
- (b) Нет

« \_\_\_\_ » \_\_\_\_\_ г.

Страна: \_\_\_\_\_

Ф.И. задержанного: \_\_\_\_\_

В Семейный Суд: \_\_\_\_\_.



## 第4編 用語の対訳

### 第1 法律関係用語

〔あ行〕	〔あ行〕
アリバイ	Алиби
異議審	Рассмотрение жалобы
異議申立て	Подача жалобы/протеста
意見聴取	Дознание, допрос, расследование обстоятельств дела
意見陳述	Дача показаний
移送	Передача, передача дела (в некоторых случаях - изменение подсудности)
移送決定	Решение о передаче
一時停止	Временное приостановление производства
一事不再理の効力	Действие принципа запрета двойной ответственности
一般事件	Дело общего характера
一般遵守事項	Общие положения (правила), требующие обязательного соблюдения (при пробации)
一般短期処遇	Краткосрочная программа общего характера
一般保護観察	Пробационный контроль (защитный надзор) общего характера
一般保護事件	Дело о несовершеннолетнем общего характера
居直り強盗	Хищение чужого имущества, соединенное с насилием, опасным для жизни и здоровья потерпевшего, или с угрозой применения такого насилия, в случае если преступник был застигнут на месте преступления
違法収集証拠	Доказательства, полученные незаконным путем
違法性	Незаконность
違法性阻却事由	Извинительный мотив
院外委嘱指導	Вверение несовершеннолетнего волонтерам службы пробации (частным лицам), занимающимся обучением и воспитанием несовершеннолетних вне исправительных учреждений
因果関係	Причинно-следственная связь, обусловленность
淫行	Внебрачная связь
引致	Привод (приведение) обвиняемого (подозреваемого, свидетеля или лица, находящегося под пробационным контролем) в положенное место (в органы дознания и следствия, суд, в службу пробации)
引致状	Ордер на привод
インテーク	Прием

インテーク基準	Критерии приема
営利の目的	Цель получения выгоды, намерение получить выгоду
閲覧	Ознакомление, прочтение
援助	Помощь
押印	Оттиск печати
押収	Конфискация, изъятие
押収物	Конфискованное имущество, изъятое имущество
[か行]	[か行]
蓋然的心証	(Внутренне) убеждение (вера) судьи в правдоподобность
回避	Уклонение
回付	Передача, пересылка
開放的な処遇	Открытый тип режима отбывания, система «открытого обращения»
確信の程度の心証	Осуждение на основе твердого убеждения
確信犯	Преступления, основанные на фанатизме (идеологические, политические, религиозные и т.д.)
覚せい剤	Стимулирующие средства
過失	Неосторожность, небрежность, халатность
過失犯	Преступная небрежность (халатность)
過剰避難	Предотвращение грозящей опасности чрезмерным применением силы
過剰防衛	Превышение мер допустимой самообороны
学校照会	Запрос в школу
学校照会書	Письменный запрос в школу
仮釈放	Условно-досрочное освобождение
仮収容	Предварительное заключение под стражу
仮退院	Условно-досрочный выход из школы производственной подготовки (исправительная школа, вид исправительно-воспитательного учреждения для несовершеннолетних делинквентов)
簡易送致	Передача дела в суммарное (упрощенное) производство
簡易の呼出	Повестка в суд суммарного (упрощенного) производства
管轄	Юрисдикция
環境調整	Налаживание обстановки, улучшение условий
環境調整の措置	Меры, направленные на налаживание обстановки
環境調整命令	Приказ о принятии мер по налаживанию обстановки
勸告	Рекомендация, совет
観護措置	Меры по защите (несовершеннолетних, совершивших акт делинквентного

観護措置決定	поведения) Решение о принятии мер по защите несовершеннолетних делинквентов
観護令状	Ордер о помещении в Центр классификации несовершеннолетних (классификационный пункт)
観察	Наблюдение, надзор, контроль
鑑定	Экспертиза, заключение эксперта
鑑定人	Эксперт
鑑定留置	Содержание в следственном изоляторе с целью проведения экспертизы
還付	Возврат
鑑別結果	Результат классификации
鑑別結果通知書	Мнение, отчет эксперта (инспектора) Центра классификации
期間	Период, срок
棄却	Прекращение
危険性の予測	Прогнозирование опасности совершить акт делинквентного поведения несовершеннолетним в будущем
期日	Дата
既遂	Выполнение состава преступления, доведение преступления до конца
偽造	Фальсификация
既判力	Преюдициальная сила решения
忌避	Отвод
却下	Отклонение
凶悪犯	Тяжкое уголовное преступление
教科教育	Педагогическая деятельность по систематичной передаче знаний и навыков (по дисциплинам)
教科指導	Преподавание дисциплин
凶器	Средство, орудие совершения преступления
教唆	Подстрекательство
矯正教育	Исправительное воспитание
強制送還	Депортация
強制退去	Принудительное выдворение
強制調査	Принудительное расследование
強制的措置	Меры принудительного воздействия
強制的措置許可決定	Решение о выдаче разрешения на принятие мер принудительного характера
強制的措置不許可決定	Решение о невыдаче разрешения на принятие мер принудительного характера
共犯	Соучастие
共犯者	Сообщник, соучастник преступления
共謀	Конспирация, сговор, заговор
協力	Сотрудничество, взаимодействие
居所	Местожителство, местонахождение
緊急同行状	Приказ о приводе в суд (срочный)
緊急避難	Экстренная эвакуация

禁制品	Запрещенные товары, контрабанда
国親	Право государства выступать в качестве истца от имени граждан («отец нации»)
国親思想	Идея «отца нации»
ぐ犯	Предделинквентность (потенциальная способность совершить акт делинквентности, предделинквентное состояние)
ぐ犯事由	Обстоятельства предделинквентности
ぐ犯少年	Несовершеннолетний деликвент, несовершеннолетний правонарушитель
ぐ犯性	Риск совершения правонарушений несовершеннолетним
訓戒	Наставление
刑事事件	Уголовное преступление
刑事施設	Пенитенциарные учреждения
刑事処分相当	Подлежит уголовной ответственности
刑事責任年齢	Возраст наступления уголовной ответственности
軽微事件	Малозначительное уголовное дело
刑法犯	Преступления, запрещенные Уголовным Кодексом
決定	Решение, постановление, определение
決定書	Письменное определение, постановление
決定書の送達	Отправление письменного решения
決定の執行	Исполнение по решению, приведение в исполнение решения
決定の通知	Уведомление о решении
検察官関与決定	Решение о вовлечении в дело Прокурора
検察官送致決定	Решение о передаче дела в Прокуратуру
故意	Намерение, умысел, злой умысел
検証	Инспекция
合議体	Коллегия судей
公共の福祉	Социальная защита
拘禁	Содержание под стражей, заключение, попечение
後見人	Опекун
抗告	Апелляция
抗告受理決定	Решение о принятии апелляции
抗告受理の申立て	Заявление о принятии апелляции судом апелляционной инстанции
抗告審	Апелляционная инстанция
抗告の趣意	Причина апелляции
抗告の申立て	Подача апелляции
抗告の申立書	Заявление на апелляцию
抗告不受理決定	Решение об отклонении апелляции
更新	Обновление
更新決定	Решение об обновлении
更生	Реабилитация
更正	Исправление

更正決定	Решение об исправительных мерах
公訴	Государственное обвинение
公訴の提起	Возбуждение государственного обвинения, утверждение прокурором обвинительного заключения или обвинительного акта
交通事件	Дело о нарушении ПДД
交通切符	Талон за нарушение ПДД
交通切符制度	Система талонов за нарушение ПДД
交通短期保護観察	Краткосрочная программа пробационного контроля за нарушение правил дорожного движения
交通反則通告制度	Система уведомления о нарушениях правил дорожного движения
交通保護観察	Пробация несовершеннолетних, совершивших нарушения правил дорожного движения
勾留	Заключение под стражу
勾留状	Ордер на заключение под стражу
勾留に代わる観護措置	Меры по помещению под надзорную защиту вместо заключения под стражу
勾留理由開示	Раскрытие причины заключения под стражу
国籍	Гражданство
国選付添人	Назначенное судом сопровождающее лицо
国選弁護人	Назначенный судом адвокат защиты
告知	Уведомление, извещение, информирование
告知調書	Протокол уведомления несовершеннолетнего
国法上の裁判所	Суд с точки зрения государственного законодательства
国家賠償	Государственная компенсация
個別処遇の原則	Принцип индивидуального подхода
[さ行]	[さ行]
在院者	Лицо, помещенное в школу производственной подготовки
再抗告	Повторная апелляция
再審	Пересмотр дела
在宅鑑別	Классификация несовершеннолетнего на дому
裁判官の回避	Уклонение судьи
裁判権	Юрисдикция
裁判長	Председательствующий судья
酒酔い	Алкогольное опьянение
差戻し	Возвращение в первоначальную инстанцию
差戻後の審判	Слушание дела, переданного на новое рассмотрение
参考人	Не приведенный к присяге свидетель
事案軽微	Малозначительное деяние
死刑	Смертная казнь, высшая мера наказания
試験観察	Временная пробация (под надзором)

試験観察決定	инспектора Семейного суда)
事件記録	Решение о временной пробации
事件の再起	Запротоколированные материалы дела
事件の調査	Повторное возбуждение дела
事後審	Расследование (следствие) по делу
	Проверка приговора или решения суда
	постфактум
事実審理の結果	Результат установления фактов по делу
自首	Явка с повинной
施設送致申請	Заявление о помещении
	несовершеннолетнего, находящегося под
	защитным надзором Пробационной службы,
	в специальное учреждение
施設送致申請事件	Дело, по которому несовершеннолетний,
	находящийся под пробационным контролем,
	направляется семейным судом в
	специальное учреждение в случае
	несоблюдения несовершеннолетним своих
	обязательств
私選付添人	Сопровождающее лицо, назначенное в
	частном порядке
執行	Исполнение, приведение в исполнение
執行機関	Исполнительный орган
執行指揮	Надзор за исполнением
執行指揮書	Исполнительный лист, приказ об
	исполнении
執行のための同行状	Приказ о приводе для приведения в
	исполнение
執行の停止	Приостановление исполнения
指導監督	Руководство и надзор
児童自立支援施設送致決定	Решение о направлении в Учреждение для
	содействия развитию способностей для
	самостоятельной жизни
児童相談所長への送致決定	Решение о направлении начальнику
	Консультативного центра по делам
	несовершеннолетним
児童養護施設送致決定	Решение о помещении в детский дом
自白	Признание обвиняемого
司法	Судебная власть
司法的機能	Функция судебной власти
社会記録	Запротоколированные сведения о
	несовершеннолетнем
社会貢献活動	Общественно-полезная деятельность
社会資源	Социальные ресурсы
社会適応性	Социальная приспособляемость
社会生活	Социальная жизнь, жизнь в обществе
社会内処遇	Воздействие без лишения свободы, меры, не
	связанные с помещением в исправительные
	учреждения
社会調査	Глубокое изучение личности

社会防衛	несовершеннолетнего
社会防衛思想	Социальная защита
終局処分	Идея социальной защиты
住居	Окончательное решение по делу
住所	Место регистрации, место жительства
自由心証主義	Адрес
重大な事実誤認	Принцип свободной оценки доказательств
	Существенная ошибка в установлении фактов
集団講習	Групповые занятия
集団処遇	Групповые исправительные воздействия
収容区分	Классификация находящихся в исправительно-воспитательном учреждении
	Продолжение нахождения в исправительно-воспитательном учреждении
収容継続	Решение о продолжении нахождения в исправительно-воспитательном учреждении
	Заявление о продолжении нахождения в исправительно-воспитательном учреждении
収容継続決定	Дело, по которому принято решение о продолжении нахождения в исправительно-воспитательном учреждении по заявлению главы исправительно-воспитательного учреждения
	Уполномоченный судья
収容継続申請	Неполная апелляция
	Правила, обязательные для соблюдения, обязательства, возлагаемые на несовершеннолетнего
収容継続申請事件	Нарушение правил, обязательных для соблюдения
	Дела, регулируемые другими законами и правилами, касающимися защиты несовершеннолетних
受命裁判官	Показание
準抗告	Доказательство
遵守事項	Расследование доказательств
	Правила о доказательствах
	Система коттеджей (проживание детей в детских домах в коттеджах небольшими группами)
遵守事項違反	Свидетель
	Допрос свидетеля
準少年保護事件	Право на допрос свидетеля
	Расходы, касающиеся свидетелей и т.д.
	Несовершеннолетний (подросток)
証言	Направление несовершеннолетнего в Школу производственной подготовки для несовершеннолетних
証拠	Решение о направлении
証拠調べ	
証拠法則	
小舎制	
証人	
証人尋問	
証人尋問権	
証人等の費用	
少年	
少年院送致	
少年院送致決定	

少年鑑別所収容の一時継続	несовершеннолетнего в Школу производственной подготовки для несовершеннолетних Временное продолжение нахождения в Центре классификации несовершеннолетних
少年審判	Производство по делам несовершеннолетних
少年審判手続	Процедуры в рамках производства по делам несовершеннолетних
少年調査記録	Запротоколированные материалы глубокого изучения личности несовершеннолетнего
少年調査票	Бланк для изучения личности несовершеннолетнего
少年の刑事事件	Уголовное дело в отношении несовершеннолетнего
少年の健全な育成	Здоровое воспитание несовершеннолетних
少年の保護事件	Дело о несовершеннолетнем
少年非行	Делинквентность несовершеннолетнего
少年保護事件	Дело о несовершеннолетнем
少年補償	Компенсации, связанные с делом о несовершеннолетнем
少年補償事件	Дела, регулируемые Законом о компенсации по делам о несовершеннолетних
抄本	Неполная копия
証明書	Сертификат
処遇勧告	Рекомендации, касающиеся воздействия
職業指導	Профессиональное обучение
職業補導	Профессиональный тренинг и направление
職権主義	Принцип сосредоточения различных полномочий в руках суда в процессе судопроизводства, розыскное начало в процессе судебного разбирательства, проявляющееся в полномочиях председательствующего
職権主義的審問構造	Концепция, в рамках которой суды проводят судебные разбирательства в силу служебных полномочий
触法少年	Несовершеннолетние в возрасте до 14 лет, нарушившие уголовное законодательство или правила
所在不明	Неустановленное местонахождение
除斥	Предусматриваемое законом отстранение от исполнения служебных обязанностей (судьи и т.д.)
処断刑	Мера наказания, увеличенная или уменьшенная на основе правил и в пределах, установленных нормами уголовного закона, или по усмотрению суда
処分の著しい不当	Существенное несоответствие мер



親権	воздействия
親権行使	Родительские права
親権尊重	Исполнение родительских прав
人権尊重	Уважение родительских прав
人権保護	Уважение прав человека
人権保障	Защита прав человека
身上調査表	Гарантии прав человека
心身鑑別	Отчет о проведении изучения личности
	Психическое и физиологическое
	обследование (классификация)
身体の自由の拘束	Ограничение физической свободы
人定質問	Вопрос для идентификации личности
審判	Слушание дела
審判開始決定	Решение о начале слушания дела, приказ о
	проведении слушания дела
審判権	Право на слушание дела
審判不開始決定	Решение не проводить рассмотрение дела
審判期日	Дата слушания дела
審判期日通知書	Уведомление о дате слушания дела
審判結果通知	Уведомление о результатах слушания дела
審判条件	Условия для слушания
審判状況説明	Разъяснение ситуации со слушанием дела
審判調書	Запротоколированные материалы слушания
	дела
審判廷	Судебное разбирательство, судебные
	слушания, слушание дела
審判に付すべき少年	Несовершеннолетний, по делу которого
	должно будет проводиться слушание
審判の併合	Объединение обвиняемых для рассмотрения
	их дел в одном производстве
審判非公開	Закрытое слушание дела
審判傍聴	Посещение гражданами публичных
	слушаний суда
性格の矯正	Исправление характера
生活指導	Учебно-воспитательное руководство
成人	Совершеннолетний (взрослый)
正当防衛	Самозащита
正本	(Нотариально) заверенная копия
責任	Ответственность
責任能力	Дееспособность, правоспособность,
	способность нести ответственность
接見交通権	Право на посещение подозреваемого или
	обвиняемого, передачу документов и вещей
接見の禁止	Запрет на посещение обвиняемого или
	подозреваемого
接見の制限	Ограничения на посещение обвиняемого
	или подозреваемого
宣誓	Клятва, заявление под присягой
専門的知識の活用	Практическое использование
	профессиональных (технических) знаний

全件送致主義

捜査  
捜査機関  
搜索  
送致  
訴訟法上の裁判所

粗暴犯

損害  
損害賠償

〔た行〕  
体育指導  
退院

逮捕  
知事への送致決定  
中間少年

長期の処遇  
調査  
調査官

調査命令  
調査報告書

直送事件

陳述録取書  
陳述録取調書  
通行禁止  
通行区分  
通告  
通訳  
通訳人  
付添人  
付添人の選任  
連戻し

連戻状  
適正手続  
伝聞証拠  
伝聞法則  
同行  
同行状

Принцип передачи уголовной полицией или государственными обвинителями (прокурорами) всех дел о несовершеннолетних в семейный суд

Следствие  
Следственный орган  
Поиск  
Передача, направление  
Суд в соответствии с процессуальным правом

Преступление, сопровождаемое насилием, насильственное преступление

Ущерб, урон, потери  
Компенсация ущерба

〔た行〕  
Физическое воспитание  
Выход из Школы профессиональной подготовки

Арест  
Решение о направлении дела губернатору  
Возрастная группа несовершеннолетних среднего порядка (16 и 17 лет), молодые люди в возрасте 16-17 лет

Долгосрочная программа воздействия  
Расследование

Исследователь (инспектор) в штате  
Семейного суда

Приказ о проведении изучения личности  
Отчет о проведении изучения личности несовершеннолетнего

Дело, передаваемое полицией непосредственно в семейный суд

Протокол допроса

Протокол допроса

Проезд воспрещен, проезда нет

Разграничение движения

Уведомление, отчет, информирование

Перевод

Переводчик

Сопровождающее лицо

Назначение сопровождающего лица

Возвращение обратно бежавших из мест заключения (пребывания)

Ордер на возвращение обратно

Надлежащая процедура

Показания с чужих слов

Правило о показаниях с чужих слов

Привод несовершеннолетнего в суд

Приказ о приводе несовершеннолетнего в

動向視察	суд Наблюдение за поведением (состоянием) несовершеннолетних, по отношению к которым принимаются меры исправительно-воспитательного характера
謄写	Копия
謄本	Выписка из реестра
道路交通事件	Дело о нарушении правил дорожного движения
特別活動指導	Проведение особой (внеклассной) деятельности
特別遵守事項	Особые положения, которые необходимо соблюдать
特別法犯	Правонарушения, ответственность за которые регулируется специальными законами
任意調査	Добровольное расследование
任意同行	Привод на добровольной основе
年少少年	Возрастная группа несовершеннолетних младшего порядка (14 и 15 лет), девушки и юноши в возрасте 14 и 15 лет
年長少年	Возрастная группа несовершеннолетних старшего порядка (18 и 19 лет), девушки и юноши в возрасте 18 и 19 лет
年齢超過	Превышение возрастного порога
犯罪	Правонарушение, преступление
犯罪少年	Малолетний преступник
犯罪の嫌疑	Подозрение в совершении преступления
反対尋問	Перекрестный допрос
反対尋問権	Право на перекрестный допрос
被害者	Жертва, пострадавшая сторона
被害者調査	Слушание дела в присутствии пострадавшей стороны
非行	Делинквентность, акт делинквентного поведения
非行事実	Факт совершения акта делинквентного поведения
非行事実存在の蓋然性	Возможность существования факта совершения акта делинквентного поведения
非行事実の告知	Информирование о факте совершения акта делинквентного поведения
非行事実の認否	Признание/отрицание факта совершения акта делинквентного поведения
非行性	Тенденция к повторному совершению актов делинквентного поведения
非行なし	Отсутствие делинквентности
非常上告	Экстренная апелляция об отмене судебного решения
否認	Отрицание, отказ
否認事件	Дело, по которому обвиняемый отрицает

秘密性	свою вину
不告不理の原則	Секретность, конфиденциальность
	Принцип того, что судебное разбирательство проводится только при предъявлении иска
不処分	Отказ от принятия каких-либо мер воздействия после рассмотрения дела, прекращение дела после рассмотрения
不処分決定	Решение об отказе от принятия мер воздействия, решение о прекращении дела после рассмотрения
不定期刑	Лишение свободы без уточнения определенного срока
不服申立て	Апелляция на решение
不利益変更禁止	Запрет в отношении изменений, которые могут обернуться против истца
分類処遇	Назначение мер воздействия в соответствии с классификацией
併合審判	Объединение обвиняемых для рассмотрения их дел в одном производстве
弁解	Объяснения, оправдания
弁解の聴取	Заслушивание объяснений, оправданий
変更の申出	Заявление об изменении
弁護士	Адвокат, поверенный в суде
弁護人	Защитник
保安処分	Обеспечение безопасности
報告	Отчет
法廷遵守事項	Положения, требующие строгого соблюдения в суде
法定代理人	Законный представитель
法的調査	Законное расследование
法律記録	Запротоколированные материалы уголовного характера
保護観察	Пробационный надзор, защитный надзор, надзор за условно-досрочно освобождёнными под честное слово, пробационный контроль
保護者	Попечитель, опекун, защитник, родитель
保護処分	Защита (несовершеннолетнего), меры по защите, меры учебно-воспитательного характера
保護処分取消決定	Решение об отмене мер по защите
保護処分取消事件	Случай отмены мер по защите
保護処分の競合	Конкуренция мер защиты
保護処分の取消し	Отмена мер по защите
教育的措置(保護的措置)	Меры учебно-воспитательного характера (меры по защите несовершеннолетнего)
没取	Изъятие, конфискация
没取決定	Решение об изъятии
没取に係る物の返付	Возврат изъятого имущества
補充捜査	Дополнительное следствие

補償の払渡し 補導委託	Выплата компенсации Поручение частным лицам воспитания несовершеннолетнего
補導委託先	Частные лица, которым поручено воспитание несовершеннолетнего
補導委託費 補導援護 本籍照会	Затраты на воспитание Наставничество и помощь Запрос о проверке места постоянной регистрации
本籍照会書	Письменный запрос о проверке места постоянной регистрации
翻訳 翻訳人 身柄付送致	Письменный перевод Письменный переводчик Передача дела в семейный суд вместе с наложением физических ограничений на свободу самого несовершеннолетнего
みなし勾留	Пребывание в Центре классификации несовершеннолетних, рассматриваемое как заключение
無職の者 無断外出 面前告知	Безработный Выход из дома без разрешения Уведомление перед лицом несовершеннолетнего
申出 申出人 黙秘権 黙秘権の告知 戻し收容 戻し收容決定	Запрос Податель запроса Право хранить молчание Уведомление о праве хранить молчание Возврат в исправительное учреждение Решение о возврате в исправительное учреждение
戻し收容処分	Решение о возврате в исправительное учреждение
戻し收容申請事件 有職の者 有責性 要保護性	Дело с заявлением на повторный арест Работающий Ответственность, виновность Необходимость принятия воспитательных мер, необходимость защиты
余罪	Другие преступления, другие правонарушения
余罪捜査 呼出 呼出状 留置施設 労役場留置	Расследование по другим преступлениям Вызов Повестка Учреждения содержания под стражей Пребывание в исправительно-трудовом учреждении

## 第2 調査関係用語

〔あ行〕

家出  
居心地  
遺伝  
姻族

〔か行〕

カウンセリング

家族関係

家長

家庭内暴力

義務教育

虐待

血族

高等学校(高校)

行動傾向

公立

危険ドラッグ(脱法ハーブ)

〔さ行〕

しつけ

社会奉仕活動

照会書

小学校

上司

職種

私立

信条

親族

心理テスト

住込み

生活史

生活費

成績

性的虐待

生理

専門学校

送金

相談相手

〔た行〕

退学

大学

怠休

〔あ行〕

Уход (побег) из дома

Комфорт, ощущение

Генетика

Свойственники (лица, не состоящие между собой в кровном родстве, но породнившиеся посредством заключения брака).

〔か行〕

Психологическое или психотерапевтическое консультирование

Семейные отношения

Глава семьи

Насильственное поведение внутри семьи

Обязательное образование

Жестокое обращение

Кровное родство

Средняя школа старшей ступени

Поведенческие тенденции

Общественное, муниципальное

Синтетические каннабиноиды

〔さ行〕

Дисциплина

Общественно-полезная работа

Письменный запрос

Начальная школа

Начальник, руководитель

Профессия

Частный

Вера

Родственники

Психологическое тестирование

Работа с проживанием

История жизни

Расходы на жизнь

Успеваемость

Сексуальное насилие

Физиология, менструация

Профессиональное учебное заведение (школа, училище)

Денежный перевод

Тот, с кем можно посоветоваться

〔た行〕

Уход из школы, исключение из школы

Колледж, университет

Прогул

短所	Недостаток, слабое место
中学校	Общеобразовательная школа средней ступени
長所	Достоинство, сильная сторона
通勤	Поездка на работу
手続	Процедура
手取り	Чистый доход
転居	Смена места жительства
転校	Переход в другую школу
転職	Смена места работы
動機	Мотив, мотивация
同棲	Совместное проживание
同僚	Коллега
特技	Особые способности, навыки, таланты
〔な行〕	〔な行〕
仲	Отношения
肉体関係	Половая связь
入学	Поступление в учебное заведение
〔は行〕	〔は行〕
配偶者	Супруг/супруга
背景	Предпосылка
売春	Проституция
父系	По отцовской линии
不純異性交遊	Беспорядочные половые связи
扶養	Иждивение
扶養家族	Члены семьи на иждивении
保育所	Детский сад, ясли
母系	По материнской линии
〔ま行〕	〔ま行〕
身元引受人	Гарант
面接	Интервью, визит
〔や行〕	〔や行〕
役割	Роль, функция
幼少	Детство
幼稚園	Детский сад
〔ら行〕	〔ら行〕
離婚	Развод
労働条件	Условия труда, условия работы

### 第3 官庁等諸機関名

〔あ行〕

医務室  
医務室技官  
受付

〔か行〕

海上保安庁  
外務省  
科学調査室  
家庭裁判所  
家庭裁判所支部  
家庭裁判所調査官(調査官)  
家庭裁判所調査官室  
簡易裁判所  
矯正管区

矯正管区長

矯正局  
区

区検察庁  
警察  
警察官  
警察署  
警察職員  
警察署の保護室

警察庁  
警察庁次長

警察庁長官

警視  
警視監  
警視正  
警視総監  
警視庁

警視長  
警部  
警部補  
刑務官

刑務所  
刑務所長  
県  
県警察本部

〔あ行〕

Медицинская служба  
Врач медицинской службы  
Регистрационная стойка, стол для справок

〔か行〕

Береговая охрана Японии  
Министерство Иностранных Дел  
Секция психологических обследований  
Семейный суд  
Территориальное отделение семейного суда  
Инспектор Семейного суда, (инспектор)  
Офис инспектора пробации Семейного суда  
Суд упрощенного производства  
Региональные отделения Бюро по  
исправительным учреждениям  
Суперинтендант регионального отделения  
Бюро по исправительным учреждениям  
Бюро по исправительным учреждениям  
Район  
Районная прокуратура  
Полиция  
Офицер полиции  
Отделение полиции  
Служащий полиции  
Комната для содержания  
несовершеннолетних под защитой в  
отделении полиции  
Национальное Полицейское Управление  
Заместитель Генерального Комиссара  
Национального Полицейского Управления  
Генеральный Комиссар Национального  
Полицейского Управления  
Суперинтендант  
Старший комиссар  
Помощник комиссара  
Генеральный суперинтендант  
Департамент полиции столичной  
префектуры Токио  
Старший суперинтендант  
Старший инспектор  
Инспектор  
Сотрудник тюремной охраны, офицер  
тюремной охраны  
Тюрьма  
Начальник тюрьмы  
Префектура  
Штаб-квартира полиции префектуры



検察	Прокуратура
検察官	Сотрудник прокуратуры
検察事務官	Помощник прокурора
検察庁	Прокуратура
検事	Прокурор
検事正	Старший прокурор
検事総長	Генеральный прокурор
検事長	Надзирающий прокурор
公使	Министр
厚生労働省	Министерство здравоохранения, труда и благосостояния Японии
更正保護会	Общество реабилитационной защиты и помощи
更正保護婦人会	Женское общество реабилитационной защиты и помощи
拘置所	Место предварительного заключения, тюрьма
高等検察庁	Прокуратура апелляционной инстанции
高等裁判所	Суд апелляционной инстанции
高等裁判所長官	Председатель суда апелляционной инстанции, главный судья суда апелляционной инстанции
〔さ行〕	〔さ行〕
最高検察庁	Верховная прокуратура
最高裁判所	Верховный суд
最高裁判所長官	Председатель (верховный судья Верховного суда)
最高裁判所裁判官	Судья Верховного суда
裁判官	Судья
裁判所事務官	Судебный делопроизводитель
裁判所書記官	Судебный секретарь
裁判長	Председательствующий судья
市	Город
次長検事	Заместитель Генерального прокурора
児童委員	Член Комиссии по делам несовершеннолетних
児童自立支援施設	Учреждение для содействия развитию способностей для самостоятельной жизни
児童相談所	Консультативный центр по делам несовершеннолетних (служба помощи неблагополучным детям)
児童相談所長	Директор Консультативного Центра по делам несовершеннолетних
児童福祉司	Сотрудник службы помощи неблагополучным детям
児童養護施設	Детский дом
司法警察員	Офицер уголовной полиции
司法警察職員	Сотрудник уголовной полиции
司法巡查	Полицейский по уголовным делам

巡査  
巡査長  
巡査部長  
少年院

少年鑑別所  
少年刑務所

書記官室  
人権擁護局  
審判官  
審判廷  
税関

〔た行〕  
第1種少年院

大使  
大使館  
第3種少年院

第2種少年院

第4種少年院

知事(都道府県知事)  
地方検察庁  
地方検察庁支部  
地方更正保護委員会

地方裁判所  
地方裁判所支部  
地方法務局  
中央更正保護審査会  
調査官(家庭裁判所調査官)

〔な行〕  
入国管理局  
入国管理事務所  
入国管理局出張所  
入国者収容所

〔は行〕  
判事  
判事補  
福祉事務所  
法務技官

法務教官

Патрульный полицейский  
Старший патрульный полицейский  
Сержант  
Производственная школа для  
несовершеннолетних (реформаторий)  
Центр классификации несовершеннолетних  
Тюрьма для заключенных в возрасте до 26  
лет  
Канцелярия суда  
Бюро по защите прав человека  
Судья  
Судебное слушание  
Таможня

〔た行〕  
Производственная школа для  
несовершеннолетних 1 категории  
Посол  
Посольство  
Производственная школа для  
несовершеннолетних 3 категории  
Производственная школа для  
несовершеннолетних 2 категории  
Производственная школа для  
несовершеннолетних 4 категории  
Губернатор (префектуры)  
Местная прокуратура  
Отделение местной прокуратуры  
Региональная комиссия по условно-  
досрочному освобождению, региональная  
комиссия по реабилитации личности  
Местный суд  
Отделение местного суда  
Территориальное бюро юстиции  
Центральная комиссия по реабилитации  
Инспектор (инспектор Семейного суда)

〔な行〕  
Иммиграционная служба  
Офис иммиграционной службы  
Портовый офис иммиграционной службы  
Иммиграционный Центр

〔は行〕  
Судья  
Помощник судьи  
Социальная служба  
Технический работник Министерства  
юстиции  
Педагогический работник Министерства

法務省  
保護局  
保護觀察官  
保護觀察所  
保護觀察所長  
保護区  
保護司  
補導委託先

[5行]  
領事  
領事館

юстиции  
Министерство юстиции  
Бюро пробации  
Сотрудник службы пробации  
Служба пробации  
Начальник службы пробации  
Зона пробации  
Добровольный работник службы пробации  
Частные лица, которым поручено  
воспитание несовершеннолетнего

[5行]  
Консул  
Консульство

## 第4 法令名

〔あ行〕

あへん法  
安保条約  
(日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約)  
医師法  
意匠法  
医療法  
ウィーン条約  
(領事関係に関するウィーン条約)  
恩赦法

〔か行〕

外国為替及び外国貿易法  
  
外国裁判所ノ囑託ニ因ル共助法  
  
海上交通安全法  
海上衝突予防法  
  
覚せい剤取締法  
  
家事事件手続規則  
家事事件手続法  
学校教育法  
割賦販売法  
  
火薬類取締法  
関税込率法  
関税法  
警察官職務執行法  
  
警察法  
刑事訴訟規則  
刑事訴訟費用等に関する法律  
  
刑事訴訟法  
刑事補償規則  
  
刑事補償法  
  
競馬法  
軽犯罪法  
刑法  
検察審査会法  
  
検察庁法  
憲法 (日本国憲法)

〔あ行〕

Закон об опиуме  
Договор о взаимном сотрудничестве и гарантиях безопасности между США и Японией  
Закон о врачах-практикантах  
Закон о дизайне  
Закон о медицинском обслуживании  
Венская конвенция о дипломатических сношениях  
Закон об амнистии

〔か行〕

Закон об иностранной валюте и внешней торговле  
Закон о юридической помощи по требованию иностранных судов  
Закон о безопасности движения на море  
Закон о предупреждении столкновений судов в море  
Закон о контроле стимулирующих наркотических веществ  
Правила о разрешении семейных дел  
Закон о разрешении семейных дел  
Закон о школьном образовании  
Закон о купле-продаже с рассрочкой платежа  
Закон о контроле взрывчатых веществ  
Закон о таможенных пошлинах  
Закон о таможене  
Закон, касающийся выполнения служебных обязанностей полицейскими  
Закон о полиции  
Правила уголовного судопроизводства  
Закон, касающийся затрат на уголовное судопроизводство  
Кодекс уголовного делопроизводства  
Правила выплаты компенсации вреда от уголовных преступлений  
Закон о выплате компенсации вреда от уголовных преступлений  
Закон о конных скачках  
Закон о незначительных преступлениях  
Уголовный кодекс  
Закон об инспекции для расследования деятельности прокуроров  
Закон о Прокуратуре  
Конституция Японии

公害罪法（人の健康に係る公害犯罪の処罰に関する法律）	Закон, касающийся наказаний преступления, связанные с нанесением вреда здоровью людей
航空機の強取等の処罰に関する法律	Закон, касающийся наказаний за незаконный захват воздушных судов
航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律	Закон, касающийся наказаний за создание угрозы безопасности воздушной авиации
更生保護法	Закон о реабилитации и защите
国際捜査共助法	Закон о международной помощи в расследованиях
国籍法	Закон о гражданстве
戸籍法	Закон о регистрации в книге посемейных записей
国家賠償法	Закон о государственном возмещении
〔さ行〕	〔さ行〕
裁判所法	Закон о судах
酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律	Закон, касающийся предупреждения причинения неудобства окружающим лицами в состоянии алкогольного опьянения
自転車競技法	Закон о велогонках
児童買春，児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律	Закон о наказаниях за действия, связанные с детской проституцией и детской порнографией и о защите детей
自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律	Закон, касающийся наказаний за причинение тяжкого вреда здоровью или смерти при вождении автомобиля
児童福祉法	Закон о защите
銃砲刀剣類所持等取締法	Закон о контроле ручного огнестрельного и колющего оружия
出入国管理及び難民認定法	Закон об иммиграционном контроле и о статусе беженцев
少年院法	Закон о Школах производственной подготовки
少年鑑別所法	Закон о Центре классификации несовершеннолетних
少年審判規則	Закон о судопроизводстве по делам о несовершеннолетних
少年の保護事件に係る補償に関する規則（少年補償規則）	Правила, касающиеся компенсаций по делам о несовершеннолетних
少年の保護事件に係る補償に関する法律（少年補償法）	Закон, касающийся компенсаций по делам о несовершеннолетних
少年法	Закон о несовершеннолетних
商法	Торговый кодекс
職業安定法	Закон о гарантиях занятости
人身保護法	Закон о неприкосновенности личности
新東京国際空港の安全確保に関する緊急措置法	Закон, касающийся срочных мер по обеспечению безопасности Нового Токийского Международного Аэропорта
森林法	Закон о лесных угодьях

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	Закон о душевном здоровье и благополучии лиц, страдающих душевными заболеваниями
船員法	Закон о морях
船舶安全法	Закон о безопасности судов
船舶職員法	Закон о морских офицерах
船舶法	Закон о кораблях и судах
組織犯罪処罰法 (組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律)	Закон о наказаниях организованной преступности и о контроле получения прибыли преступным путем
[た行]	[た行]
大麻取締法	Закон о контроле препаратов конопли
著作権法	Закон об авторском праве
通貨及証券模造取締法	Закон о контроле за подделкой иностранной валюты и ценных бумаг
鉄道営業法	Закон о железной дороге
電気通信事業法	Закон о телекоммуникационном бизнесе
電波法	Закон о радиоволнах
盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律	Закон о предотвращении и наказаниях за кражи, грабежи, разбой и т.д.
逃亡犯罪人引渡法	Закон о выдаче преступников
道路運送車両法	Закон о перевозках по автомобильным дорогам
道路交通法	Закон о дорожном движении
毒物及び劇物取締法	Закон о контроле за ядовитыми и агрессивными веществами
[な行]	[な行]
日本国憲法	Конституция Японии
日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約 (安保条約)	Договор о взаимном сотрудничестве и гарантиях безопасности между США и Японией
日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第 6 条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法	Специальный уголовный закон, касающийся исполнения Соглашения в рамках Статьи 4 Договора о взаимном сотрудничестве и гарантиях безопасности между США и Японией, касающейся сооружений и территорий, а также статуса Вооруженных Сил США в Японии
日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法	Специальный уголовный закон, касающийся исполнения Соглашения, касающегося статуса Вооруженных Сил ООН
[は行]	[は行]
売春防止法	Закон о предотвращении проституции
破壊活動防止法	Закон о предотвращении подрывной деятельности
爆発物取締罰則	Закон о контроле взрывчатых веществ
罰金等臨時措置法	Закон о временных мерах, касающихся

犯罪捜査規範	штрафов Регламент, касающийся уголовных расследований
犯罪捜査のための通信傍受に関する法律	Закон, касающийся перехвата телефонных разговоров для целей уголовных расследований
犯罪者被害者等給付金支給法	Закон, касающийся выплаты компенсаций жертвам криминальных преступлений
犯罪被害者等の保護を図るための刑事手続に付随する措置に関する法律	Закон о мерах, которые необходимо принимать в ходе уголовного судопроизводства в целях защиты жертв преступлений
風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律	Закон о контроле и надлежащем ведении развлекательного бизнеса
武器等製造法	Закон о производстве оружия
法廷等の秩序維持に関する法律	Закон о соблюдении порядка в залах суда
暴力行為等処罰ニ関スル法律	Закон, касающийся наказаний за причинение физического насилия
保護司法	Закон о добровольных пробационных инспекторах
〔ま行〕	〔ま行〕
麻薬及び向精神薬取締法	Закон о контроле наркотических и психотропных препаратов
麻薬及び向精神薬取締法等特例法（国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律）	Закон об особых мерах, касающихся Закона о контроле наркотических и психотропных препаратов и т.д. (закон, касающийся особых мер в отношении Закона о контроле наркотических и психотропных препаратов и других смежных законов, предназначенный для предотвращения действий, способствующих незаконным действиям с наркотиками, в рамках сотрудничества на международном уровне)
未成年者飲酒禁止法	Закон о запрете употребления спиртных напитков несовершеннолетними
未成年者喫煙禁止法	Закон о запрете курения несовершеннолетними
民事訴訟法	Закон о гражданском судопроизводстве
民法	Гражданский кодекс
〔や行〕	〔や行〕
有線電気通信法	Закон о проводных телекоммуникациях
郵便法	Закон о почтовой службе
〔ら行〕	〔ら行〕
領海及び接続水域に関する法律	Закон о территориальном море и прилежащей зоне
領事関係に関するウィーン条約（ウィーン条約）	Венская конвенция о дипломатических сношениях

旅券法  
労働基準法

Закон о паспорте  
Трудовой кодекс



## 第5 罪名

〔あ行〕

遺棄罪

遺棄致死傷罪

遺失物等横領罪

威力業務妨害罪

往来危険罪

横領罪

〔か行〕

覚せい剤取締法違反

過失傷害罪

過失致死罪

過失運転致死傷罪

危険運転致死傷罪

偽証罪

偽造外国通貨行使罪

偽造通貨行使罪

偽造無印公文書行使罪

偽造無印私文書行使罪

偽造有印公文書行使罪

偽造有印私文書行使罪

偽造有価証券行使罪

器物損壊罪

恐喝罪

強制わいせつ罪

強制わいせつ致死傷罪

〔あ行〕

Преступное оставление

Преступное оставление, приведшее в результате к смерти или телесным повреждениям; смерть или получение телесных повреждений в результате преступного оставления

Присвоение утерянных или забытых вещей

Препятствование выполнения служебных обязанностей

Создание угрозы безопасности движением транспортного средства

Присвоение денег незаконным путем с использованием служебного положения, растрата

〔か行〕

Нарушение Закона о контроле

стимулирующих наркотических веществ

Нанесение телесных повреждений (вреда здоровью) по небрежности

Смерть в результате небрежных действий, убийство по небрежности, небрежные действия, приведшие к смерти

ДТП со смертельным исходом по небрежности

ДТП со смертельным исходом в результате опасного управления автомобилем

Дача ложных показаний

Пуск в обращение фальшивой иностранной валюты

Пуск в обращение фальшивых денег

Подделка официальных документов без подписи или печати

Подделка частных документов без подписи или печати

Подделка официальных документов с подписью или печатью

Подделка частных документов с подписью или печатью

Подделка ценных бумаг

Порча имущества

Вымогательство, шантаж

Непристойное нападение, посягательство на половую свободу, непристойные действия по принуждению

Смерть в результате непристойного нападения, смерть в результате

脅迫罪 業務上横領罪	посягательства на половую свободу, непристойные действия по принуждению, приведшие к смерти Запугивание, угроза Растрата (незаконное присвоение денежных средств) в связи с исполнением своих служебных обязанностей
業務上過失往來危險罪	Создание угрозы безопасности при управлении транспортным средством по неосторожности при выполнении служебных обязанностей
業務上過失傷害罪	Нанесение телесных повреждений в результате небрежных действий при исполнении служебных обязанностей
業務上過失致死罪	Смерть в результате небрежных действий при исполнении служебных обязанностей
強要罪 現住建造物等放火罪 建造物等以外放火罪 建造物等延燒罪 公印偽造罪 公印不正使用罪	Принуждение Поджог жилых зданий Поджог объектов, отличных от зданий Распространение огня на здания Подделка официальных печатей Незаконное использование официальных печатей
強姦罪 強姦致死傷罪	Изнасилование Изнасилование, повлекшее за собой смерть или телесные повреждения
公正証書原本不實記載罪	Внесение сведений, не соответствующих действительности, в официально удостоверяемые документы
公然わいせつ罪	Публичное совершение непристойного действия
強盜強姦罪 強盜強姦致死傷罪	Грабеж с изнасилованием Грабеж с изнасилованием, повлекшим за собой смерть
強盜罪 強盜致死罪	Грабеж, разбой Разбойное нападение, повлекшее за собой смерть
強盜致傷罪	Разбойное нападение, повлекшее за собой телесные повреждения
強盜予備罪 公用文書毀棄罪 公務執行妨害罪	Подготовка к грабежу, разбою Уничтожение официальных документов Препятствование исполнению официальных (служебных) обязанностей
昏睡強盜罪	Грабеж, разбой посредством приведения в состояние потери сознания
〔さ行〕 詐欺罪 殺人罪 殺人予備罪	〔さ行〕 Обман, мошенничество Убийство Подготовка к убийству

私印偽造罪	Подделка личных печатей
私印不正使用罪	Несанкционированное использование личных печатей
死体遺棄罪	Оставление трупа
重過失傷害罪	Нанесение телесных повреждений по грубой неосторожности
重過失致死罪	Смерть по грубой неосторожности, грубая неосторожность, приведшая к смерти
住居侵入罪	Незаконное проникновение в жилище, совершенное против воли проживающего в нем лица
銃砲刀劍類所持等取締法違反	Нарушение Закона о контроле ручного огнестрельного и колющего оружия
傷害罪	Телесные повреждения
傷害致死罪	Телесные повреждения со смертельным исходом
常習賭博罪	Привычное злоупотребление азартными играми
常習累犯窃盜罪	Привычное воровство с наличием прежней судимости
証人威迫罪	Запугивание свидетеля
証拠隠滅罪	Укрытие доказательств
窃盜罪	Кража, воровство
贈賄罪	Дача взятки, взяточничество
〔た行〕	〔た行〕
逮捕監禁罪	Незаконный арест и лишение свободы
逮捕監禁致死傷罪	Незаконный арест или лишение свободы, приведшие к смерти или телесным повреждениям
單純逃走罪	Побег
通貨偽造罪	Подделка денег
盜品等無償讓受け罪	Принятие незаконно присвоенного имущества на безвозмездной основе
盜品等有償讓受け罪	Принятие незаконно присвоенного имущества на возмездной основе
道路交通法違反	Нарушение Закона о дорожном движении
毒物及び劇物取締法違反	Нарушение Закона о контроле ядовитых и агрессивных веществ
賭博場開帳罪	Открытие игорных домов
賭博罪	Азартные игры
〔は行〕	〔は行〕
背任罪	Нарушение доверенным лицом своих обязанностей
犯人藏匿罪	Укрывательство преступников
非現住建造物等放火罪	Поджог нежилых зданий
売春防止法違反	Нарушение Закона о предотвращении проституции
放火罪	Поджог

暴行罪

暴力行為等処罰ニ関スル法律違反

保護責任者遺棄罪

保護責任者遺棄致死傷罪

〔ま行〕

麻薬及び向精神薬取締法違反

身の代金目的拐取罪

身の代金目的拐取幫助罪

身の代金目的拐取予備罪

身の代金目的被拐取者收受罪

無印公文書偽造罪

無印私文書偽造罪

名誉毀損罪

〔や行〕

有印公文書偽造罪

有印私文書偽造罪

有価証券偽造罪

Нанесение телесных повреждений,

хулиганские действия, насилие

Нарушение Закона, касающегося наказаний за акты физического насилия и т.д.

Заведомое оставление без помощи лиц, о которых виновный обязан был иметь заботу  
Заведомое оставление без помощи лиц, о которых виновный обязан был иметь заботу, приведшее к смерти или тяжким телесным повреждениям (нарушению здоровья)

〔ま行〕

Нарушение Закона о контроле наркотических и психотропных средств

Похищение с целью выкупа

Содействие похищению насильственным или обманным путем с целью выкупа

Подготовка к похищению насильственным или обманным путем с целью выкупа

Получение похищенных насильственным или обманным путем лиц с целью выкупа

Подделка официальных документов без подписи или печати

Подделка частных документов без подписи или печати

Диффамация

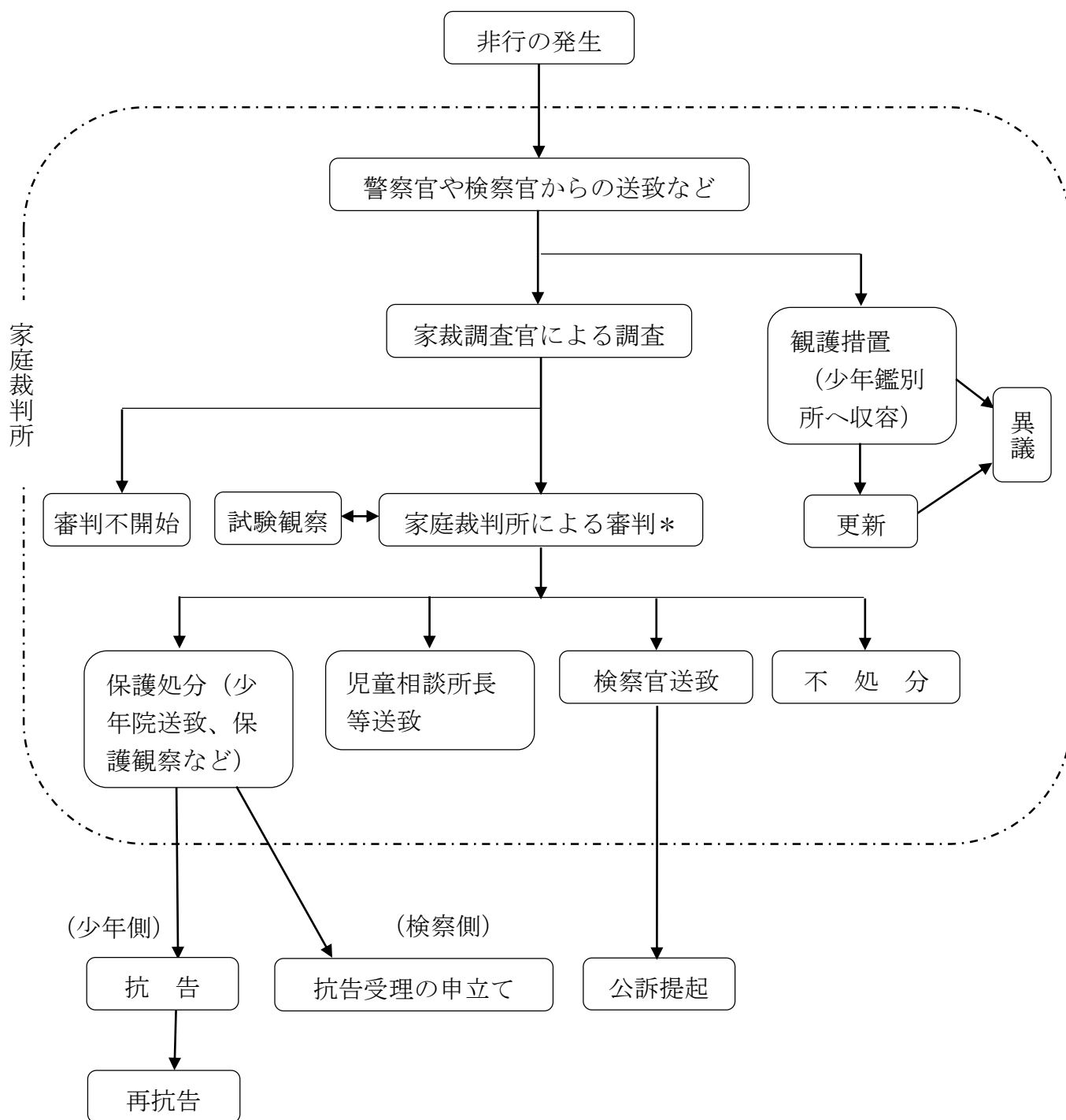
〔や行〕

Подделка официальных документов с подписью или печатью

Подделка личных документов с подписью или печатью

Подделка ценных бумаг

## 少年保護事件の手続の流れ



\* 複雑困難な重大事件などでは、①3人の裁判官が審判したり、②検察官が立ち会うことがあります。